

令和3年
岩手県教育委員会定例会
8月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和3年8月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和3年8月23日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 議案第13号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求
めることについて (教育企画室)

第3 議案第14号 県立高等学校の学科の廃止に関し議決を求めること
について (学校教育室)

第4 議案第15号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (教職員課)

閉会

議案第 13 号

教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて
教育委員会の事務に係る点検及び評価の結果に関する報告書を別添のとおりとすること
について、議決を求める。

令和 3 年 8 月 23 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和2年度
教育委員会事務点検評価報告書
(主要施策の成果に関する説明書)

令和3年8月
岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2019年度～2022年度）の 取組と成果-----	議13-7
令和2年度教育委員会事務点検評価報告書、主要施策の成果に関する説明書 の概要-----	議13-8
本書の見方-----	議13-12
I 「健康・余暇」分野-----	議13-17
II 「家族・子育て」分野-----	議13-19
III 「教育」分野-----	議13-21
VII 「歴史・文化」分野-----	議13-24
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります-----	議13-25
政策項目No.6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります-----	議13-28
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して 子どもの育ちと学びを支えます-----	議13-30
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります-----	議13-32
政策項目No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます-----	議13-34
政策項目No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます-----	議13-38

政策項目No.13	【体育】児童生徒の健やかな体を育みます-----	議13-42
政策項目No.14	共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます-----	議13-45
政策項目No.15	いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを 尊重する学校をつくります-----	議13-48
政策項目No.16	児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や 教職員の資質の向上を進めます-----	議13-51
政策項目No.18	地域に貢献する人材を育てます-----	議13-55
政策項目No.31	ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、 一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります-----	議13-58
政策項目No.41	豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境を つくり、交流を広げます-----	議13-60
政策項目No.46	安全・安心を支える社会資本を整備します-----	議13-62
政策項目No.49	性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会を つくります-----	議13-64
参考資料 1	令和2年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表-----	議13-66
2	いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン 事務事業一覧表-----	議13-75

いわて県民計画（2019～2028）

政策推進プラン（2019年度～2022年度）の 取組と成果

岩手県では、平成31年（2019年）3月に、今後10年間を計画期間とする新しい総合計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、この計画の第1期アクションプランとして、2019年度から2022年度までの4年間を対象とした「政策推進プラン」を策定しました。

「政策推進プラン」では、各政策分野における幸福に関連する客観的な指標（いわて幸福関連指標）のほか、政策項目ごとに、取組の「基本方向」、「県が取り組む具体的な推進方策」、「県以外の主体に期待される行動」を示しています。

この報告書は、「いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2019年度～2022年度）」で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の令和2年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2019年度～2022年度）のうち、教育委員会が所管する政策分野（Ⅲ教育）及び政策項目（政策項目No.5、7、11～16、18）（ただし、他部局関係部分を除く。）及び他部局が所管する政策分野及び政策項目のうち、教育委員会関係部分について掲載しています。
- ・ いわて幸福関連指標と具体的推進方策指標の令和2年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	目標達成率	■達成度 令和2年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■目標達成率の計算式 ①通常の指標（現状値から数値を上げる目標） $\frac{(R2 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値})}{(R2 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値})} \times 100$ ②維持指標等（現状値を維持する目標等） $(R2 \text{ 実績値}) / (R2 \text{ 目標値等}) \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「◆」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、令和2年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「-」としている場合があります。

1 位置付け

- (1) 地方自治法第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき県議会に提出する事務の管理・執行状況の点検評価結果報告書

2 内容

平成31年3月に策定した「いわて県民計画（2019～2028）」の政策推進プラン（2019年度～2022年度）を対象に、平成29年を基準年度（現状値）として、令和3年3月末時点の各指標の達成度を示すもの。（基準年度から見た年度目標に対する到達度）

3 政策推進プランの令和2年度の達成状況

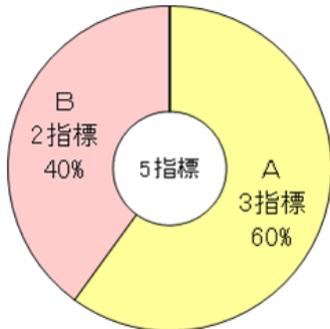
令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による調査等の中止のため、多くの指標の実績値が測定できませんでした。そのため、それらの未測定指標を除いて達成状況を示しています。

- (1) 10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標である「いわて幸福関連指標」5（18）*の「概ね達成」以上の割合は100%となりました。〔※指標数の（ ）内は、未測定指標を含む全指標数。（2）に同じ。〕
- (2) 県が主体となって具体的に取り組む「具体的な推進方策」を示した88（114）の指標の「概ね達成」以上の割合は61%となりました。

グラフの見方:「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

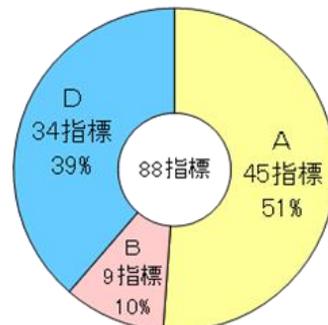
(1) 「いわて幸福関連指標」の達成状況

- ①「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 5指標(100%)
- ②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 0指標(0%)



(2) 「具体的な推進方策指標」の達成状況

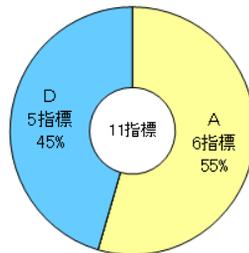
- ①「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 54指標(61%)
- ②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 34指標(39%)



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況

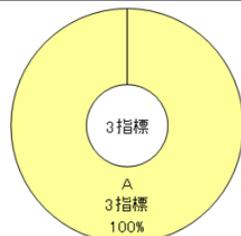
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

- ①具体的な推進方策指標12指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度Aの指標が6指標、達成度Dの指標が5指標です。
- ②達成度Dの指標は、「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）（読書以外の活動時間の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による図書館来館者数の減少、研修会中止などが一因となっているため）、県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数（新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座を中止したほか、受講者数を制限して開催したため）、教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数（新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数が減少したため）です。



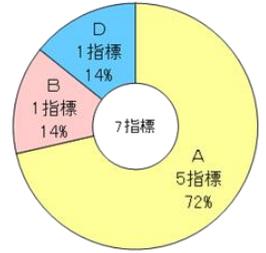
政策項目No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

- ①具体的な推進方策指標3指標は、達成度A、Bの指標が3指標でした。
- ②推進方策「家庭教育を支える環境づくりの推進」では、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用やグループ・団体・NPO等との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等の実施に取り組みました。



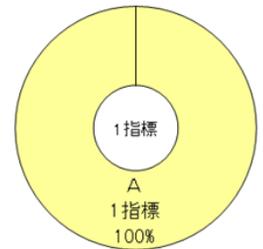
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

- ①具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が6指標、達成度Dの指標が1指標です。
 ②達成度Dの指標は、教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】です。



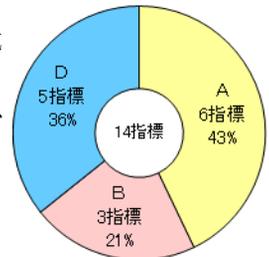
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標1指標(放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】)は、達成度Aの指標が1指標です。
 ②推進方策「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進」では、子どもたちの放課後の居場所である子供教室、児童クラブ、学童等の指導員の資質向上を目的とした研修会の開催のほか、市町村の求めに応じ、放課後の居場所に関わる職員に対し、県内外の事例を基に、様々な体験活動の取組を紹介しました。



政策項目No.11【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

- ①具体的推進方策指標19指標は、実績値が未確定等の5指標を除き、達成度A、Bの指標が9指標、達成度Dの指標が5指標です。
 ②達成度Dの指標は、学校の授業が分かる児童生徒の割合(小学生)(目標値を2ポイント下回ったため)、つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合(中学生)(目標値を1ポイント下回ったため)、弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒の割合(小学生・中学生)(自主的に学習内容を工夫して家庭学習を行う習慣が定着していないことなどが一因となっているため)、生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合(進路目標を設定する際に、努力目標として高めの目標とする傾向にあることも一因となっているため)です。



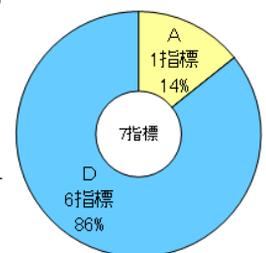
政策項目No.12【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

- ①具体的推進方策指標18指標は、実績値が未確定等の5指標を除き、達成度A、Bの指標が5指標、達成度Dの指標が8指標です。
 ②達成度Dの指標は、自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合(小学生・中学生)(目標値を3ポイント下回ったため)、学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う児童生徒の割合(新型コロナウイルス感染症の影響による職場体験学習や集団宿泊体験等の体験活動の機会の減少などが一因となっているため)、「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)【再掲】、様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合(小学生・中学生)(新型コロナウイルス感染症の影響による文化芸術に対する興味関心の向上に取り組む機会の減少が一因となっているため)です。



政策項目No.13【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

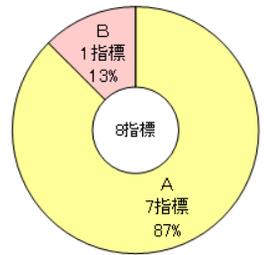
- ①具体的推進方策指標9指標は、実績値が未確定等の2指標を除き、達成度Aの指標が1指標、達成度Dの指標が6指標です。
 ②達成度Dの指標は、部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合(中学校)(新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者が参集する形での開催実績は目標値を下回ったため)、「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合(小学生・中学生)(望ましい運動習慣の形成に向けた「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」に取り組んだものの、適切な食習慣、生活習慣の確立に向けた取組を、望ましい運動習慣と一体的に関連づけながら効果的に推進できなかったことなどを一因に、「肥満」の割合の増加に加え、「やせ」の出現率に減少が見られなかったため)、ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合(小学生・中学生)【再掲】、喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合(新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した学校があったため)です。



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況（つづき）

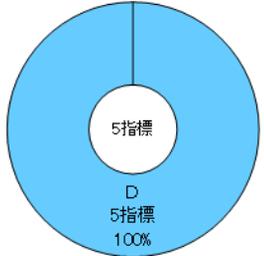
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

- ①具体的推進方策指標8指標は、達成度A、Bの指標が8指標でした。
- ②推進方策「就学前から卒業後までの一貫した支援の充実」では、学校間及び関係機関との連携や切れ目ない支援の充実に向け、特別な支援を必要とする児童生徒の様子や支援内容等を記載する引継ぎシートを活用し、個々の状況に応じた支援に取り組みました。



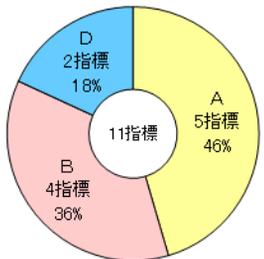
政策項目No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくりま

- ①具体的推進方策指標10指標は、実績値が未確定等の5指標を除き、達成度Dの指標が5指標です。
- ②達成度Dの指標は、学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(小学生・中学生)(新型コロナウイルス感染症の影響による学校行事の縮小等、教育活動に制限が生じたことなどを一因に目標値を下回ったため)、ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合(小学生・中学生)(児童生徒の情報モラルの意識が浸透するのに時間を要するため)、喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合【再掲】です。



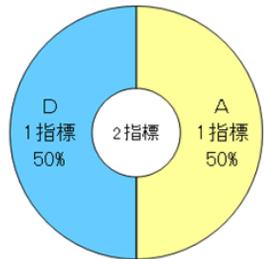
政策項目No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

- ①具体的推進方策指標12指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bの指標が9指標、達成度Dの指標が2指標です。
- ②達成度Dの指標は、学校経営計画の目標が概ね達成できたと評価した学校の割合(目標の下に多くの達成指標を掲げたため、達成できなかった指標が複数生じ、目標を達成できなかった事例などがあつたため)、悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている児童生徒の割合(小学生)(機会を捉えて継続的に周知を図っていくことが足りなかったため)です。



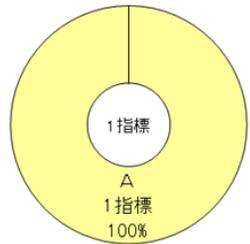
政策項目No.18 地域に貢献する人材を育てます

- ①具体的推進方策指標9指標は、実績値が未確定等の7指標を除き、達成度Aの指標が1指標、達成度Dの指標が1指標です。
- ②達成度Dの指標は、自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(中学生)(新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校で行う行事が延期や中止など、予定していた取組が十分に実施できなかったため)です。



政策項目No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくりま

- ①具体的推進方策指標1指標(放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】)は、達成度Aの指標が1指標です。
- ②推進方策「子育てと仕事の両立を図る家庭への支援」では、子どもたちの放課後の居場所である子供教室、児童クラブ、学童等の指導員の資質向上を目的とした研修会の開催のほか、市町村の求めに応じ、放課後の居場所に関わる職員に対し、県内外の事例を基に、様々な体験活動の取組を紹介しました。



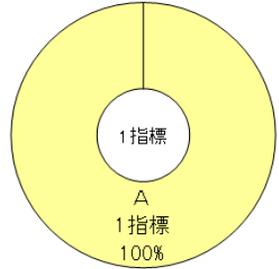
政策項目No.41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げま

- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Dの指標が1指標です。
- ②達成度Dの指標は、文化財保存活用地域計画を策定した市町村数【累計】(新型コロナウイルス感染症の影響によりワーキンググループや協議会の開催が延期になるなど、策定に着手済みの市町村においてはスケジュールを見直す必要性が生じたため)です。



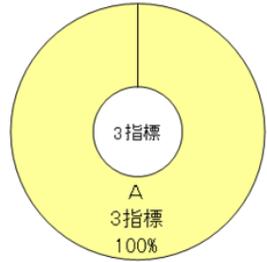
政策項目No.46 安全・安心を支える社会資本を整備します

- ①具体的推進方策指標1指標(県立学校の耐震化率【再掲】)は、達成度Aの指標が1指標です。
 ②推進方策「公共建築物等の耐震化による安全の確保」では、学校施設の機能・性能の向上を図るため、学校施設の耐震化、保健室や特別教室への冷房施設の設置、トイレの洋式化等に取り組みました。



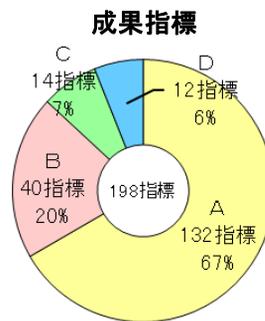
政策項目No.49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります

- ①具体的推進方策指標3指標(学校における男女混合名簿の使用率)は、達成度Aの指標が3指標です。
 ②推進方策「多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備」では、各種会議等における男女混合名簿の使用を前提とした積極的な働きかけや「いわての教職員研修ガイドブック」の「男女共同参画の推進」の項目において、性別による順番の固定化の見直しや改善を働きかけるなど、男女混合名簿の使用促進について取り組みました。



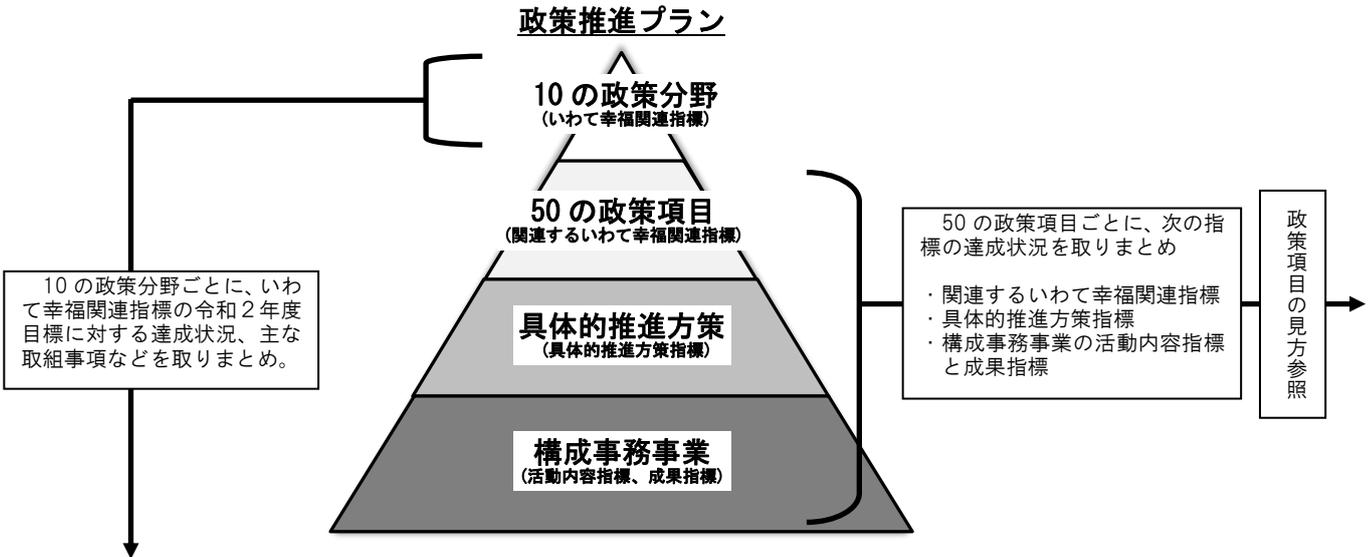
5 教育委員会所管の構成事業の状況

政策項目	活動内容指標				成果指標			
	A	B	C	D	A	B	C	D
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます	1			1		1		1
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります	14			2	4	12	4	2
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります	8				14	4	2	
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	11	1			5	9	4	1
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります	5				2	4	2	
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	14	2		1	16	1	1	1
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	4			1	2	1		2
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます	4		1	1	9	2		1
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	10	3	1		12	3		
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります	9	2	2	1	11		1	1
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	16	1	1	1	25			1
18 地域に貢献する人材を育てます	17	5			22	1		1
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります	1			1		1		1
40 世界遺産の保存と活用を進めます	2				1			
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます	1				5	1		
46 安全・安心を支える社会資本を整備します	2				4			
計	119	14	5	9	132	40	14	12



本書の見方

本書では、いわて県民計画長期ビジョンに示した 10 の政策分野と、それを構成する 50 の政策項目について、各種指標の達成状況や県の取組状況などの情報を掲載しています。



政策分野の見方

III 教育

学びや人づくりによって、
将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度

【概要】

○いわて幸福関連指標 16 指標は、実績値が未確定等の 13 指標を除き、達成度 A、B の指標が 3 指標 (100%) でした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
							H29	R2	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 80.9	84.9	82.9	-	-	-	-	-
20		中 77.2	81.2	79.2	-	-	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 80.7	84.7	82.7	-	-	-	-	-
22		中 80.0	84.0	82.0	-	-	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 66	70	68	69	A	-	-	-
24		中 64	68	66	68	A	-	-	-
25		高 57	61	59	-	-	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 82.3	85.0	83.5	-	-	-	-	-
27		中 76.9	80.0	78.0	-	-	-	-	-
29 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 73.6	75.0	74.0	-	-	14 位 (24 位)	-	-
		小 女子 82.9	83.0	83.0	-	-	9 位 (2 位)	-	-
		中 男子 77.7	78.0	78.0	-	-	7 位 (1 位)	(-)	(-)
		中 女子 91.3	91.5	91.5	-	-	8 位 (1 位)	(-)	(-)

○政策分野名
10 の政策分野名と政策分野の取組方向を記載

○いわて幸福関連指標の達成度
いわて幸福関連指標の達成度ごとの構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

○概要
いわて幸福関連指標の達成度の状況などを記載

○いわて幸福関連指標の状況
いわて幸福関連指標の目標値や令和 2 年度の実績値などを記載

※囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○全国順位 (東北順位)
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位と H29 現状値との比較を記載

○10の政策分野に対応するいわて幸福関連指標の状況
 いわて幸福関連指標の指標名、目標値や令和2年度の目標に対する達成度などを記載
 【達成度の計算式】

- ・通常の指標（H29 現状値から数値を上げる目標）
 $(R2 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R2 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$
- ・マイナス指標（H29 現状値から数値を下げる目標）
 $(H29 \text{ 現状値} - R2 \text{ 実績値}) / (H29 \text{ 現状値} - R2 \text{ 目標値}) \times 100$
- ・維持指標等（H29 現状値を維持する目標等）
 $(R2 \text{ 実績値}) / (R2 \text{ 目標値等}) \times 100$

※ なお、累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
 $(R2 \text{ 実績値}) / (R2 \text{ 目標値}) \times 100$

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R2	備考
学力が全国水準未満の児童生徒の割合	%	小 国語 ④42	-	-
		小 算数 ④50	-	-
		中 国語 ④45	-	-
		中 数学 ④54	-	-
不登校児童生徒数(千人当たり)	人	小 3.4	-	-
		中 25.9	-	-
		高 13.1	-	-

○参考指標
 いわて幸福関連指標を補完するために
 設定した参考指標の状況

主な取組事項

- 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実
 「いわての授業づくり3つの視点(改訂版)」を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、訪問指導による授業改善に取り組みました。
 また、GIGAスクール構想の加速に向け、ICTを学校や家庭での学びに活かすための学校での取組状況を把握し、新型コロナウイルス感染症にも対応した学びの保障を図るため、全ての県立学校に無線LAN環境を整備するとともに、大型提示装置や児童生徒への貸出用端末等の段階的な整備を行いました。
 なお、ICT機器を効果的に活用するための大学等と連携した実証研究や、「岩手県学校教育ICT推進協議会」の設置による県と市町村が連携した取組の推進などを行いました。
- 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進
 理科・数学の学力向上と科学的思考力の育成を図るため、探究プログラム事業を実施し、事業重点校において理数教科に関する探究的な学習や授業改善に取り組みました。また、高校生の医学部進学への動機付けと学力向上を図るため、医師による講演や医学部対策講座などの「岩手メディカルプログラム」を実施しました。
- 主権者教育などによる社会に参画する力の育成
 児童生徒が主体的に社会形成に参画できるよう、各種セミナー及び地域課題の学習を通じた主権者教育、多様な契約・消費者保護の仕組みなどを学習する消費者教育など、社会の発展に寄与する態度を育成する教育に取り組みました。
- 適切な部活動体制の推進
 自主的・自発的な参加により行われる部活動の推進を図るため、部活動指導員等の外部人材の活用により運営の適正化を図るとともに、生徒本位の部活動を含めた有意義な中学生のスポーツ・文化活動の在り方について、関係団体等の意見を聴取するなど研究を進め、有識者会議における提言を取りまとめました。
- 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実
 学校間及び関係機関との連携や切れ目ない支援の充実に向け、特別な支援を必要とする児童生徒の様子や支援内容等を記載する引継ぎシートを活用し、個々の状況に応じた支援に取り組みました。
- 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進
 県民と協働した特別支援教育を進めるため、特別支援教育サポーター養成講座を開催するとともに、地域の特別支援学校において、特別支援教育サポーターによる授業の補助や学校生活の支援を行いました。
- いじめ防止対策の推進といじめ事業への適切な対応
 日常の学校生活における観察やアンケート調査等を行い、悩みを抱えた児童生徒の早期発見に努めるとともに、いじめの未然防止に係る学校の取組事例を紹介しました。また、スクールカウンセラー等と連携を図りながら、きめ細かな対応を通して心のサポートに取り組みました。
 さらに、新型コロナウイルス感染症に関する正確な知識を基に発達段階に応じた指導を行い、偏見や差別が生じないよう取り組みました。
- 安心して学べる環境の整備
 登下校時の通学路の安全体制確保のため、各学校や地域の実情に応じ、関係機関と連携し、交通安全教室、防犯教室やスクールガードリーダー等の見守り活動を行いました。

○主な取組事項
 10の政策分野ごとに取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

政策項目の見方

Ⅲ 教育

11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

【基本方向】

急激な社会変化に向き合い、他者と協働しながら、新たな価値を創造することができる児童生徒を育むため「主体的・対話的で深い学び」の推進などにより、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成します。

また、児童生徒の「確かな学力」を育むため、読調査の効果的な活用や情報通信技術（ICT）の活用などにより、児童生徒の実態に応じた授業改善や家庭学習の充実に取り組みます。

さらに、情報化やグローバル化など変容する社会に対応し、岩手の未来を担う人材を育成するため、探究的な学習の推進や進路指導の充実などにより、生徒が希望する進路を実現できる力を育みます。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標4指標は、実績値が未確定等なため、達成度は測定できませんでした。

・具体的推進方策指標19指標は、実績値が未確定等の5指標を除き、達成度A、Bの指標が9指標（64%）、達成度Dの指標が5指標（36%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考) 全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦80.9	84.9	82.9	-	-	-	-	-
		中 ㊦77.2	81.2	79.2	-	-	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦80.7	84.7	82.7	-	-	-	-	-
		中 ㊦80.0	84.0	82.0	-	-	-	-	-

【特記事項】

- 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、児童生徒が課題解決に向けて自ら取り組める授業づくりを進めるため、各校を訪問し、授業の視察や協議を通し、児童生徒の気づきや考え、興味、関心を引き出せる授業となるよう支援を行いました。
- 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、各校への訪問指導を通して、児童生徒が自分の考えを周囲の考えと比べながら見直し、より良い考えに修正するなど、対話的な学びの実現に向けた授業への改善を推進しました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R2	備考
学力が全国水準未満の児童生徒の割合	%	小 国語 ㊦42	-	-
		小 算数 ㊦50	-	-
		中 国語 ㊦45	-	-
		中 数学 ㊦54	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度



説明

具体的推進方策指標19指標は、実績値が未確定等の5指標を除き、達成度A、Bの指標が9指標（64%）、達成度Dの指標が5指標（36%）でした。

○具体的推進方策指標の達成度
政策項目ごとの具体的推進方策指標の達成度の構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

【達成度の計算式】

- 通常の指標（H29 現状値から数値を上げる目標）
 $(R2 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R2 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$
 - マイナス指標（H29 現状値から数値を下げる目標）
 $(H29 \text{ 現状値} - R2 \text{ 実績値}) / (H29 \text{ 現状値} - R2 \text{ 目標値}) \times 100$
 - 維持指標等（H29 現状値を維持する目標等）
 $(R2 \text{ 実績値}) / (R2 \text{ 目標値等}) \times 100$
- ※ なお、累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
 $(R2 \text{ 実績値}) / (R2 \text{ 目標値}) \times 100$

○政策分野名
10の政策分野名を記載

○政策項目名
50の政策項目名を記載

○政策項目の基本方向
政策項目に関して取り組む基本方向を記載

○概要
政策項目に関連するいわて幸福関連指標及び具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

○いわて幸福関連指標の状況
政策項目に関連するいわて幸福関連指標の目標値や令和2年度の実績値などを記載

○全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位とH29 現状値との比較を記載

○特記事項
政策項目の取組状況について、指標データ等により説明

○参考指標
参考指標の状況を記載

※囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○説明
具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

(1) これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
122 児童生徒が調べたことなど適切に表現する指導をしている学校の割合	%	小 70	100	100	97	B
		中 50	100	100	95	B
		高 -	100	100	100	A
125 授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合	%	小 85	89	87	90	A
		中 83	87	85	88	A
		高 54	58	56	-	-
128 学校の授業が分かる児童生徒の割合	%	小 90	94	92	90	D
		中 77	81	79	81	A
		高 76	80	78	-	-
131 幼保小の円滑な連携に取り組んでいる小学校の割合	%	59	100	100	98	B

○具体的推進方策名
「政策項目の基本方向」の実現に向け、県が主体となって取り組む具体的な推進方策名を記載

○具体的推進方策指標の状況
具体的推進方策指標の目標値や令和2年度の値などを記載

【特記事項】

・ 授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、訪問指導等を通じ、課題解決の過程を振り返ることで、課題を解決することの達成感や学習内容の有用感を実感できる授業づくりを推進しました。

○特記事項
具体的な推進方策の取組状況について、指標データ等により説明

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳					活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D	
7	20	19	0	5	0	14	4 (80%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (20%)	5 (83%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (17%)	

○推進方策を構成する事業の状況
具体的な推進方策を構成する事務事業の数、県が実施した具体的な推進方策に係る投入コスト(R2実績)、活動内容指標及び成果指標の達成度について掲載を記載

- ・ 事業数
推進方策を構成する事業数を記載
- ・ 予算額
2年度最終予算額を記載
- ・ 決算額
2年度決算額を記載(財源内訳も記載)
- ・ 活動内容指標
事業の活動内容を示す指標
達成度=実績値/計画値×100
- ・ 成果指標
事業の成果を示す指標
達成度=実績値/目標値×100

※投入コストは、端数四捨五入の計算のため、事業数又は財源の内訳は、合計と一致しない場合があります。
※達成度の構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
※個別事業の詳細は巻末一覧表に掲載

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

・ 令和3年県民意識調査によると「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は20位、満足度は18位となり、ニーズ度は26位となっています。

○その他
指標以外の動向について、県民意識調査結果及び政策項目の基本方向に対する特徴的な動きなど、当該政策項目を取り巻く状況について記載

参考1：達成度の判定区分

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

※ 実績値が未確定等の場合は「-」と表示しています。

※ 具体的推進方策指標と事務事業の成果指標が同じ場合がありますが、両者の計算式は異なる（具体的推進方策指標はH29 現状値を踏まえ計算しているが、事務事業の成果指標はR2 の実績値と目標値のみから計算）ため、達成度の評価が同一とならない場合があります。

参考2：本説明書で用いる記号

○ 指標名等で用いる記号

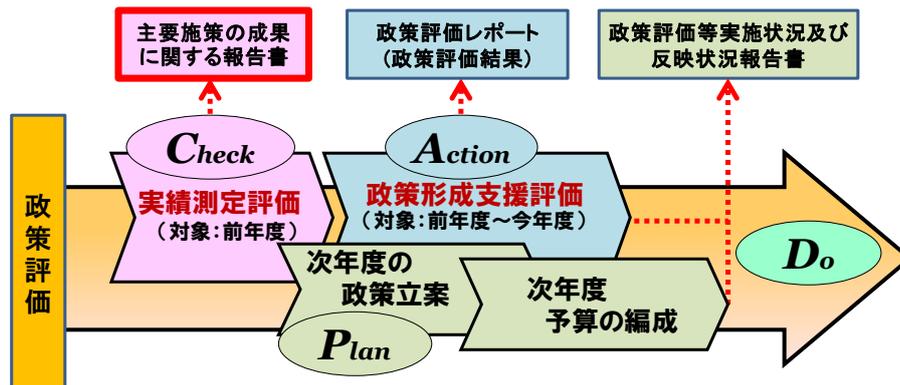
「▼」：H29 現状値から数値を下げることを目標とする指標（マイナス指標）

「◆」：H29 現状値等を維持することを目標とする指標（維持指標）

（記号を付していないものは、主にH29 現状値から数値を上げることを目標とする指標（通常の指標）を示す。）

参考3：本書の位置付けについて

本報告書は政策評価のマネジメントサイクルのうち、「実績測定評価」部分の結果を取りまとめたものです。本報告書の内容を踏まえ、年度後半に実施する「政策形成支援評価」において、今回の指標達成状況と併せ、社会経済情勢等も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。



健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、

また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

○いわて幸福関連指標1指標は、達成度Aの指標が1指標(100%)でした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
1 健康寿命[平均自立期間]	年	男性 ㊸79.32	㊸80.60	㊸ 80.09	教育関連以外のものは非表示としています。				
2 女性 ㊸83.96		㊸84.84	㊸ 84.49						
3 がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数[10万人当たり]	人	男性 ㊸305.1	㊸273.8	㊸ 288.4					
4 女性 ㊸158.7		㊸135.7	㊸ 143.5						
5 自殺者数[10万人当たり]	人	21.0	16.0	18.0					
6 地域包括ケア関連(元気な高齢者割合) ^{※1}	%	98.71	98.86	98.80					
7 地域包括ケア関連(在宅医療連携拠点の事業区域数)	箇所	㊸16	27	20					
8 余暇時間[一日当たり] ^{※2}	分	㊸373	390	382					
9 県内の公立文化施設における催事数 ^{※3}	件	1,316	1,385	1,358					
10 スポーツ実施率	%	61.7	㊸65.0	㊸ 64.0					
11 生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	44.2	42.2					

※1 全国を100とした水準

※2 休日を含む1週間の平均

※3 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な12施設の催事数

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R2	備考
1 健康寿命[日常生活に制限のない期間]	年	男性 ㊸71.85	教育関連以外のものは非表示としています。	3年ごとの公表
		女性 ㊸74.46		
2 喫煙率	%	㊸22.6		

主な取組事項

■多様な学習機会の充実

「いつでも・どこでも・だれでも」生涯を通じて学び続けられる環境づくりのため、県立生涯学習推進センター「岩手県生涯学習情報提供システム（まなびネットいわて）」のスマートフォンへの対応や Facebook 等の SNS と連動した学びの機会に関する情報発信等により、学習情報提供の仕組みの充実に取り組みました。

また、素直に感動できる豊かな情操を育て、児童生徒が多くの本に触れ、読むことの楽しさを実感できる読書活動の充実につなげるため、読書ボランティアのための研修会や読書活動推進会議を開催しました。

■岩手ならではの学習機会の提供

県民の郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等における自然観察会や岩手ゆかりの美術家の企画展、岩手の歴史講座の開催などにより、岩手ならではの学習機会の提供に取り組みました。

■学びと活動の循環による地域の活性化

学びと活動の循環による地域の活性化を促進するため、県立生涯学習推進センターを活用し、生涯学習・社会教育関係職員や有志指導者（ボランティア）を対象とした地域づくりに関する研修・交流機会の提供や指導者ボランティア登録制度等により、地域づくり人材の育成に取り組みました。

■社会教育の中核を担う人材の育成

県民の生涯を通じた学習活動を支援するため、社会教育指導員等を対象とした指導者研修会や「地域づくり・人づくりフォーラム」の開催、交流を通じた指導者相互のネットワーク化の推進などにより、社会教育の中核を担う人材の育成に取り組みました。

■多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

学びたい時に学べる環境を提供するため、県立博物館や県立美術館、県立図書館における多様な企画展の開催や県立青少年の家における各種体験プログラムの実施などにより、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供する拠点づくりに取り組みました。

II 家族・子育て

家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、

また、安心して子育てをすることができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度

【概要】

教育関連以外のものは非表示としています。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
12 合計特殊出生率		1.47	1.58	1.53					
13 待機児童数[4月1日時点]	人	178	0	49					
14 地域の行事に参加している生徒の割合[中学生]	%	⑩63.7	64.0	64.0					
15 総実労働時間[年間]	時間	1,858.8	1,720.8	1,776.0					
16 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均]*	%	34.2	40.0	38.0					
17 犬、猫の返還・譲渡率	%	犬 98.0	99.0	98.6					
		猫 93.5	96.8	95.5					

教育関連以外のものは非表示としています。

※ 女性の家事時間に対する割合

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R2	備考
4 待機児童数[10月1日時点]	人	681		-
5 共働き男性の家事時間	分	100		-
6 共働き女性の家事時間	分	292		-
7 生涯未婚率	%	男性 ㉞26.16		5年ごとの公表
		女性 ㉞13.07		5年ごとの公表

教育関連以外のものは非表示としています。

主な取組事項

■家庭教育を支える環境づくりの推進

家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用やグループ・団体・NPO等との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等の実施に取り組みました。

■学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

市町村別訪問説明会等で全国及び県内の導入状況や先進事例の情報提供を行いました。また、県教育研究発表会に特設分科会「コミュニティ・スクール」を設置し、研究指定先の教育委員会や県立学校におけるコミュニティ・スクール導入等に関する実践研究の成果を広く周知しました。

■豊かな体験活動の充実

子どもたちの豊かな体験活動を充実させるために、子どもたちの放課後の居場所である子供教室、児童クラブ、学童等の指導員の資質向上を目的とした研修会の開催や青少年の家などの社会教育施設の利用促進を図りました。

■県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

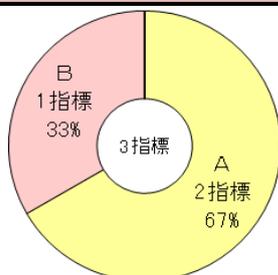
特別支援教育サポーターの登録者を増やすため、コロナ禍においても感染対策を講じ、特別支援教育サポーター養成講座を開催するとともに、地域の特別支援学校において、特別支援教育サポーターによる授業の補助や学校生活の支援を行いました。

III 教育

学びや人づくりによって、

将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

○いわて幸福関連指標 16 指標は、実績値が未確定等の 13 指標を除き、達成度A、Bの指標が3指標(100%)でした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦80.9	84.9	82.9	-	-	-	-	-
20		中 ㊦77.2	81.2	79.2	-	-	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦80.7	84.7	82.7	-	-	-	-	-
22		中 ㊦80.0	84.0	82.0	-	-	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦66	70	68	69	A	-	-	-
24		中 ㊦64	68	66	68	A	-	-	-
25		高 ㊦57	61	59	-	-	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊦82.3	85.0	83.5	-	-	-	-	-
27		中 ㊦76.9	80.0	78.0	-	-	-	-	-
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 73.6	75.0	74.0	-	-	14位 (2位)	- (-)	- (-)
29		小 女子 82.9	83.0	83.0	-	-	9位 (2位)	- (-)	- (-)
30		中 男子 77.7	78.0	78.0	-	-	7位 (1位)	- (-)	- (-)
31		中 女子 91.3	91.5	91.5	-	-	8位 (1位)	- (-)	- (-)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	-	68.0	64.0	60.8	B	-	-	-
33 高卒者の県内就職率	%	65.8	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持っていて	%	小 ㊦86.5	88.0	87.0	-	-	-	-	-
35 る児童生徒の割合		中 ㊦73.2	76.0	74.5	-	-	-	-	-
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	45.3	51.5	49.5	-	-	-	-	-

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R2	備考
9	学力が全国水準未満の児童生徒の割合	小 国語 ㊶42	-	-
10		小 算数 ㊶50	-	-
11		中 国語 ㊶45	-	-
12		中 数学 ㊶54	-	-
13	不登校児童生徒数〔千人当たり〕	小 3.4	-	-
14		中 25.9	-	-
15		高 13.1	-	-

主な取組事項

■ 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

「いわての授業づくり3つの視点(改訂版)」を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、訪問指導による授業改善に取り組みました。

また、GIGAスクール構想の加速に向け、ICTを学校や家庭での学びに活かすための学校での取組状況を把握し、新型コロナウイルス感染症にも対応した学びの保障を図るため、全ての県立学校に無線LAN環境を整備するとともに、大型提示装置や児童生徒への貸出用端末等の段階的な整備を行いました。

なお、ICT機器を効果的に活用するための大学等と連携した実証研究や、「岩手県学校教育ICT推進協議会」の設置による県と市町村が連携した取組の推進などを行いました。

■ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

理科・数学の学力向上と科学的思考力の育成を図るため、探究プログラム事業を実施し、事業重点校において理数教科に関する探究的な学習や授業改善に取り組みました。また、高校生の医学部進学への動機付けと学力向上を図るため、医師による講演や医学部対策講座などの「岩手メディカルプログラム」を実施しました。

■ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

児童生徒が主体的に社会形成に参画できるよう、各種セミナー及び地域課題の学習を通じた主権者教育、多様な契約・消費者保護の仕組みなどを学習する消費者教育など、社会の発展に寄与する態度を育成する教育に取り組みました。

■ 適切な部活動体制の推進

自主的・自発的な参加により行われる部活動の推進を図るため、部活動指導員等の外部人材の活用により運営の適正化を図るとともに、生徒本位の部活動を含めた有意義な中学生のスポーツ・文化活動の在り方について、関係団体等の意見を聴取するなど研究を進め、有識者会議における提言を取りまとめました。

■ 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

学校間及び関係機関との連携や切れ目ない支援の充実に向け、特別な支援を必要とする児童生徒の様子や支援内容等を記載する引継ぎシートを活用し、個々の状況に応じた支援に取り組みました。

■ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

県民と協働した特別支援教育を進めるため、特別支援教育サポーター養成講座を開催するとともに、地域の特別支援学校において、特別支援教育サポーターによる授業の補助や学校生活の支援を行いました。

■ いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対応

日常の学校生活における観察やアンケート調査等を行い、悩みを抱えた児童生徒の早期発見に努めるとともに、いじめの未然防止に係る学校の取組事例を紹介しました。また、スクールカウンセラー等と連携を図りながら、きめ細かな対応を通して心のサポートに取り組みました。

さらに、新型コロナウイルス感染症に関する正確な知識を基に発達段階に応じた指導を行い、偏見や差別が生じないように取り組みました。

■ 安心して学べる環境の整備

登下校時の通学路の安全体制確保のため、各学校や地域の実情に応じ、関係機関と連携し、交通安全教室、防犯教室やスクールガードリーダー等の見守り活動を行いました。

■安全で快適な学校施設の整備

学校施設の機能・性能の向上を図るため、学校施設の耐震化、エアコンの設置、トイレの洋式化等に取り組みました。

■魅力ある学校づくりの推進

将来の地域を支える人材育成を推進するため、県立高校において、総合的な探究の時間に行う地元自治体や企業と連携した地域理解の学習活動の充実を図るなど、魅力ある学校づくりに取り組みました。

■「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育」^{※1}プログラムに基づき、各学校が計画する復興教育の取組を支援しました。また、プログラムに基づく副読本「いきる かかわる そなえる」（改訂版）の活用研修会を開催するなど、「いわての復興教育」の推進に取り組みました。

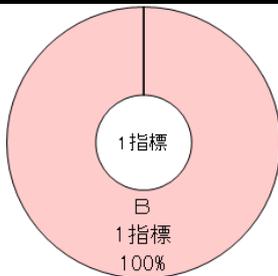
【用語解説】

※1 いわての復興教育：東日本大震災津波の体験を踏まえ、県内全ての学校がそれぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、郷土を愛し、いわての復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

VII 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 B の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・いわて幸福関連指標のうち全国比較が可能な「国、県指定文化財件数」は、全国順位が順位横ばいでした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
							H29	R2	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	927	教育関連以外のは非表示としています。				
63 国、県指定文化財件数	件	565	581	573	572	B	31 位 (3 位)	31 位 (3 位)	横ばい (横ばい)
64 民俗芸能ネットワーク加盟 団体数	団体	396	396	396					

主な取組事項

■様々な文化財などを活用した交流の推進

歴史的建造物や史跡公園などの文化財を会議・レセプション・イベント等に活用している事例の収集を行い、情報発信に取り組みました。

5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

（基本方向）

生涯を通じて楽しく学ぶことができ、一人ひとりの学びを地域コミュニティの再生・維持・向上や地域の課題解決に役立てていくため、情報通信技術（ICT）を活用した学習情報の提供等や、「地域学校協働活動」への参加の促進などにより、多様な学習機会の充実を図り、学びの成果を地域の活性化につなげる仕組みづくりを推進します。

また、県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、自然、文化、歴史など、有形・無形のあらゆる資源を学びの対象や場とすることにより、岩手ならではの学びの提供に取り組みます。

さらに、誰もが学びたい時に学べる環境を整備するため、指導者の研修会等により、社会教育の中核を担う人材を育成するとともに、多様な学びのニーズに応じた社会教育施設の充実を図ります。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

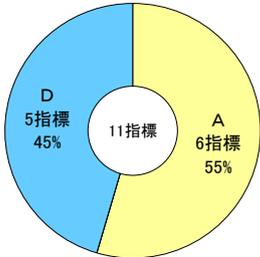
・具体的推進方策指標 12 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A の指標が 6 指標（55%）、達成度 D の指標が 5 指標（45%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
8 余暇時間[一日当たり]※1	分	⑳373	390	382	教育関連以外のものは非表示としています。				
11 生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	44.2	42.2	44.0	A	-	-	-

※1 休日を含む1週間の平均

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 12 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A の指標が 6 指標（55%）、達成度 D の指標が 5 指標（45%）でした。</p>

(1) 多様な学習機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
60 生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	792	910	860	861	A
61 生涯学習情報提供システム(ホームページ)利用件数	件	63,542	93,000	79,000	—	—
62 「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小 ㊶45	50	47	46	D
63		中 ㊶42	51	46	40	D
64		高 ㊶38	52	44	39	D
65 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	60.0	67.0	A

【特記事項】

- 生涯学習情報提供システム(ホームページ)利用件数は、令和2年度途中の県のネットワークシステムの変更により、利用件数を計測できない期間などがあったため、実績値を測定できませんでした。なお、令和2年度においては、ホームページのリニューアルを進めるとともに、コンテンツの充実に努め、システムの利用促進を図る取組を実施しました。
- 「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合は、「楽しい」を含む肯定的な回答が8割以上と概ね高い水準を維持していますが、インターネットコンテンツやSNSの利用時間及び読書以外の活動時間の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による図書館来館者数の減少、中学・高校担当者対象の研修会の中止などを一因に、小学生、中学生、高校生のいずれも達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、児童生徒に「おすすめ図書100選」を配布し、読書活動への意欲向上を図る取組を実施しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	179	160	138	0	0	22	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (22%)	5 (56%)	2 (22%)	0 (0%)

(2) 岩手ならではの学習機会の提供

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
66 県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	850	1,250	1,050	623	D

【特記事項】

- 県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座を中止したほか、受講者数を制限して開催したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、施設のホームページ等各種メディアを活用し、学習機会の周知を図る取組を実施しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	739	735	3	50	0	682	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)

(3) 学びと活動の循環による地域の活性化

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
67 生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数【再掲】	人	792	910	860	861	A
68 教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数	件	③04,224	5,144	4,684	3,411	D

【特記事項】

- 教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数は、各地域において充実した内容の活動が計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数が減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、市町村担当者を対象とした研修会の実施や啓発資料の提供等によって地域活動の充実を図る取組を実施しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	180	161	138	0	0	23	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (22%)	5 (56%)	2 (22%)	0 (0%)

(4) 社会教育の中核を担う人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
69 社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	79	123	103	121	A

(5) 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
70 県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	93	A
71 県立青少年の家における利用者の満足度の割合	%	97	97	97	98	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	4,696	4,461	1,769	50	0	2,642	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は47位、満足度は39位となり、ニーズ度は42位となっています。

6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります

（基本方向）

安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築や子育てにやさしい職場づくりを進めます。

また、子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して学ぶことができるよう、教育の機会を確保するとともに、障がい児とその家族の多様なニーズに対応した療育支援体制の充実を図ります。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標（100%）でした。

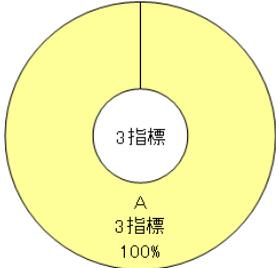
1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
12 合計特殊出生率		1.47	1.58	1.53					
13 待機児童数[4月1日時点]	人	178	0	49	教育関連以外のものは非表示としています。				

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R2	備考
4 待機児童数[10月1日時点]	人	681	教育関連以外のものは非表示としています。	—
7 生涯未婚率	%	男性 ㉞26.16	教育関連以外のものは非表示としています。	5年ごとの公表
8		女性 ㉞13.07		5年ごとの公表

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標（100%）でした。</p>

(1) 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

(2) 安全・安心な出産環境の整備

(3) 子育て家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
81 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	60.0	67.0	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	178	159	137	0	0	23	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (25%)	4 (50%)	2 (25%)	0 (0%)

(4) 子どもが健やかに成長できる環境の整備

(5) 障がい児の療育支援体制の充実

(6) 家庭教育を支える環境づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
93 すこやかメールマガジンの登録人数	人	1,041	5,000	3,000	3,043	A
94 子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	502	600	550	579	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	3	3	0	0	0	3	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「安心な子育て環境整備」の重要度は16位、満足度は25位となり、ニーズ度は18位となっています。



7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

(基本方向)

「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を実現するため、地域学校協働活動の充実等により、学校・家庭・地域が連携・協働する仕組みづくりを進めます。

また、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、放課後子供教室等により、地域の実状に応じた子どもの学びの場づくりを支援します。

さらに、特別支援教育に対する県民理解の醸成や参加促進を図るため、特別支援教育サポーターの養成などにより、障がいに関する正しい理解や「共に学び、共に育つ教育」の推進に向けた啓発活動に取り組みます。

[概要]

- ・具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 6 指標（86%）、達成度 D の指標が 1 指標（14%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
14 地域の行事に参加している生徒の割合[中学生]	%	◎63.7	64.0	64.0			教育関連以外のものは非表示としています。		

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標 7 指標の達成度：A 5指標 72%、B 1指標 14%、D 1指標 14%</p>	<p>具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 6 指標（86%）、達成度 D の指標が 1 指標（14%）でした。</p>

(1) 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
95 コミュニティ・スクール設置市町村数	市町村	4	33	11	11	A
96 地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%	小 79.0	84.0	82.0	100.0	A
		中 60.0	67.0	64.2	92.7	A
98 教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】	件	◎4,224	5,144	4,684	3,411	D

【特記事項】

- ・ 教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数は、各地域において充実した内容の活動が計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数が減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、市町村担当者を対象とした研修会の実施や啓発資料の提供等により地域活動の充実を図る取組を実施しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	179	160	137	0	0	23	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (22%)	4 (45%)	2 (22%)	1 (11%)

(2) 豊かな体験活動の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
99 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	13.0	100	60.0	67.0	A
101 県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	30.98	98	98	100	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	178	159	137	0	0	22	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (25%)	4 (50%)	2 (25%)	0 (0%)

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
102 特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	236	380	320	316	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和3年県民意識調査によると「子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携」の重要度は29位、満足度は13位となり、ニーズ度は37位となっています。

9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

(基本方向)

仕事と生活を両立できる環境をつくるため、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上等の働き方改革や、育児休業・介護休業制度の普及促進等により、男女問わず一人ひとりの事情に対応できる、働きやすい職場づくりを推進します。

[概要]

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

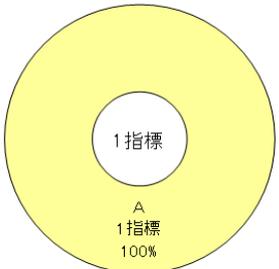
1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
13 待機児童数[4月1日時点]	人	178	0	49					
15 総実労働時間[年間]	時間	1,858.8	1,720.8	1,776.0					
16 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均] <small>※女性の家事時間に対する割合</small>	%	34.2	40.0	38.0					

教育関連以外のものは非表示としています。

調査項目	単位	現状値 (H29)	R2	備考
4 待機児童数[10月1日時点]	人	681		—
5 共働き男性の家事時間	分	100		—
6 共働き女性の家事時間	分	292		—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 働き方改革の取組の推進

(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
114 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	60.0	67.0	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
2	178	159	137	0	0	22	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (25%)	4 (50%)	2 (25%)	0 (0%)

(3) いきいきと働き続けるための健康づくりの推進

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「仕事と生活を両立できる環境」の重要度は15位、満足度は38位となり、ニーズ度は10位となっています。

11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

（基本方向）

急激な社会変化に向き合い、他者と協働しながら、新たな価値を創造することができる児童生徒を育むため「主体的・対話的で深い学び」の推進などにより、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成します。

また、児童生徒の「確かな学力」を育むため、諸調査の効果的な活用や情報通信技術（ICT）の活用などにより、児童生徒の実態に応じた授業改善や家庭学習の充実に取り組みます。

さらに、情報化やグローバル化など変容する社会に対応し、岩手の未来を担う人材を育成するため、探究的な学習の推進や進学指導の充実などにより、生徒が希望する進路を実現できる力を育みます。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標4指標は、実績値が未確定等なため、達成度は測定できませんでした。

- ・具体的推進方策指標19指標は、実績値が未確定等の5指標を除き、達成度A、Bの指標が9指標（64%）、達成度Dの指標が5指標（36%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊟80.9	84.9	82.9	-	-	-	-	-
20		中 ㊟77.2	81.2	79.2	-	-	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊟80.7	84.7	82.7	-	-	-	-	-
22		中 ㊟80.0	84.0	82.0	-	-	-	-	-

【特記事項】

- ・ 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、児童生徒が課題解決に向けて自ら取り組める授業づくりを進めるため、各校を訪問し、授業の視察や協議を通し、児童生徒の気づきや考え、興味、関心を引き出せる授業となるよう支援を行いました。
- ・ 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、各校への訪問指導を通して、児童生徒が自分の考えを周囲の考えと比べながら見直し、より良い考えに修正するなど、対話的な学びの実現に向けた授業への改善を推進しました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R2	備考
9	%	小 国語 ㊶42	-	-
10		小 算数 ㊶50	-	-
11		中 国語 ㊶45	-	-
12		中 数学 ㊶54	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>A donut chart showing the achievement levels of 19 specific implementation strategy indicators. The chart is divided into four segments: A (yellow, 43%), B (pink, 21%), D (blue, 36%), and 14 indicators (white, 14%).</p>	<p>具体的推進方策指標 19 指標は、実績値が未確定等の 5 指標を除き、達成度 A、B の指標が 9 指標（64%）、達成度 D の指標が 5 指標（36%）でした。</p>

(1) これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
122	%	小 70	100	100	97	B
123		中 50	100	100	95	B
124		高 -	100	100	100	A
125	%	小 ㊶85	89	87	90	A
126		中 ㊶83	87	85	88	A
127		高 ㊶54	58	56	-	-
128	%	小 ㊶90	94	92	90	D
129		中 ㊶77	81	79	81	A
130		高 ㊶76	80	78	-	-
131	%	㊶59	100	100	98	B

【特記事項】

- ・ 授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、訪問指導等を通じ、生徒が課題解決の過程を振り返ることで、課題を解決することの達成感や学習内容の有用感を実感できる授業づくりを推進しました。

- 学校の授業がわかる児童生徒の割合は、各学校において、学習指導要領改訂を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善に取り組んだ結果、昨年度から1ポイント上昇しましたが、目標値を2ポイント下回ったことから、小学生の達成度は【D】となりました。また、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、各学校の個々の実情に応じたきめ細かな学習指導の取組を支援しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	20	19	0	5	0	14	4 (80%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (20%)	5 (83%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (17%)

(2) 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	
132	%	小 ㊦85	89	87	89	A	
133		中 ㊦88	92	90	89	D	
134		高 ㊦90	94	92	—	—	
135	ICT機器を活用して、効果的な教材研究や授業をすることができる高校教員の割合	%	㊦90	100	96	—	—
136	%	小 ㊦74	82	78	67	D	
137		中 ㊦62	70	66	59	D	
138		高 ㊦43	51	47	—	—	

【特記事項】

- つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合は、児童生徒の主体的な問題発見・解決の機会を充実させながら、客観的データや、各学校が作成している「確かな学力育成プラン」に基づき、つまずきに対応した一人ひとりの学力を伸ばす授業改善に取り組んだ結果、昨年度から1ポイント上昇しましたが、目標値を1ポイント下回ったことから、中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、各学校において間違っても認め合える雰囲気がある授業づくりを個別指導により推進しました。
- ICT機器を活用して、効果的な教材研究や授業をすることができる高校教員の割合は、文部科学省が行う「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の結果が公表されていないことから、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、ICT機器を活用した効果的な指導に向けて、授業での実践等による活用事例の研究に取り組みました。
- 弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒の割合は、家庭学習の質の向上に取り組んできましたが、自主的に学習内容を工夫して家庭学習を行う習慣が定着していないことなどを一因に、小学生及び中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、生徒個々の進路希望に向けて自ら弱点を克服するための、学習の見通しを持てる授業となるように、指導・助言を行いました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
6	1,411	910	154	0	715	41	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (83%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
139 課題を見つけ解決策を考えていく探究活動に取り組んでいる高校の割合	%	⑩82	100	90	100	A
140 生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	70	80	73	63	D

【特記事項】

- 生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合は、大学等との連携による探究的な学習の推進や、生徒の課題発見・解決能力の育成など、大学入試制度改革に対応した指導を通じて生徒の進路目標達成に向けた取組を進めましたが、各高等学校では、進路目標を設定する際に、努力目標として高めの目標とする傾向にあることも一因となり、達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
6	58	45	7	10	0	28	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (86%)	0 (0%)	1 (14%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は20位、満足度は18位となり、ニーズ度は26位となっています。

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが、自他の生命(いのち)を大切に、他者の人権を尊重する心や、良好な人間関係を構築できる協調性を育むため、道徳の指導の充実や教育振興運動と連携した他者との協働活動等により、実践的な道徳教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化部活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標5指標は、実績値が未確定等の3指標を除き、達成度Aの指標が2指標（100%）でした。

・具体的推進方策指標18指標は、実績値が未確定等の5指標を除き、達成度Aの指標が5指標（38%）、達成度Dの指標が8指標（62%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦66	70	68	69	A	-	-	-
24 中 ㊦64		68	66	68	A	-	-	-	
25 高 ㊦57		61	59	-	-	-	-	-	
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊦82.3	85.0	83.5	-	-	-	-	-
27 中 ㊦76.9		80.0	78.0	-	-	-	-	-	

【特記事項】

- 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、各教科の学習やホームルーム活動、新型コロナウイルス感染症への対応を工夫しながら実施した生徒会活動や学校行事など、学校の教育活動全体を通して、道徳教育や人権教育に取り組みました。
- 自己肯定感を持つ児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、道徳教育のガイドブックの活用や研修会の開催など、学校の道徳教育や人権教育等の充実に向けた支援に取り組みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R2	備考
13	不登校児童生徒数[千人当たり]	小 3.4	-	-
14		中 25.9	-	-
15		高 13.1	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>A 5指標 38% D 8指標 62% 13指標</p>	<p>具体的推進方策指標 18 指標は、実績値が未確定等の 5 指標を除き、達成度 A の指標が 5 指標（38%）、達成度 D の指標が 8 指標（62%）でした。</p>

(1) 自他の生命を大切にし、他者の人権を尊重する心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
141	%	小 ㊟85	94	89	86	D
142		中 ㊟88	93	91	88	D
143		高 ㊟77	81	79	-	-

【特記事項】

- 自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合は、道徳教育のガイドブックの活用や教員のキャリアステージに応じて行われている基本研修等を実施した結果、昨年度から小学生は 3 ポイント、中学生は 4 ポイント上昇しましたが、小学生、中学生のいずれも目標値を 3 ポイント下回ったことから、小学生及び中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和 2 年度においては、公民科の授業やホームルーム活動などの特別活動を中心に、学校の教育活動全体を通して、道徳教育や人権教育に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	0	0	0	0	0	0	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)

(2) 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
144	%	小 ㊶79	86	83	86	A
145		中 ㊶84	86	85	83	D
146		高 ㊶85	86	85	-	-
147	%	小 ㊶45	50	47	46	D
148		中 ㊶42	51	46	40	D
149		高 ㊶38	52	44	39	D

【特記事項】

- 学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う児童生徒の割合は、各学校において多様な体験活動を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による職場体験学習や集団宿泊体験等の体験活動の機会の減少などを一因に、中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては総合的な探究の時間等において、地域課題の学習活動などに取り組みました。
- 「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合は、「楽しい」を含む肯定的な回答が8割以上と概ね高い水準を維持していますが、インターネットコンテンツやSNSの利用時間及び読書以外の活動時間の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による図書館来館者数の減少、中学・高校担当者対象の研修会の中止などを一因に、小学生、中学生、高校生のいずれも達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、児童生徒に「おすすめ図書100選」を配布し、読書活動への意欲向上を図る取組を実施しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	2	2	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	
						(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(50%)	(50%)	(0%)	(0%)	

(3) 学校における文化芸術教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
150	%	小 ㊶70	77	74	72	D
151		中 ㊶71	78	74	68	D
152		高 ㊶79	86	82	-	-

【特記事項】

- 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合は、文化芸術の体験活動を実施する機会の確保に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による文化芸術に対する興味関心の向上に取り組む機会の減少を一因に、小学生及び中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、芸術の授業を中心に校内で発表の機会を設けるなど、新型コロナウイルス感染症への対応を工夫しながら芸術に親しむ学習活動に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	9	6	0	2	0	4	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)

(4) 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	
154	%	小 ㊦77	85	81	82	A	
155		話し合いの場で、少数意見にも耳を傾け、意見をまとめている児童生徒の割合	中 ㊦81	89	85	89	A
156		高 ㊦73	81	77	-	-	
157	%	小 ㊦82	86	84	91	A	
158		社会の動きや出来事に関するニュースに関心がある児童生徒の割合	中 ㊦75	87	81	93	A
159		高 ㊦72	90	80	-	-	

【特記事項】

- 話し合いの場で、少数意見にも耳を傾け、意見をまとめている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、授業やホームルーム活動などにおいて、話し合う機会の充実に取り組みました。
- 社会の動きや出来事に関するニュースに関心がある児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、SDGs など社会的な話題を題材とした課題解決への取組など、各教科や総合的な探究の時間を中心とした、現代の諸課題を考察する学習等に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	0	0	0	0	0	0	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)	- (-%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は7位、満足度は17位となり、ニーズ度は16位となっています。

13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、学校体育の充実や適切な部活動の推進などにより、体力の向上と健康の保持・増進に取り組みます。

また、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域と連携しながら、健全な食生活と健康・命の大切さを教える学校保健活動などにより、児童生徒に基本的な生活習慣や、健康に関する正しい知識などを身に付けさせる取組を推進します。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標4指標は、実績値が未確定等なため、達成度は測定できませんでした。

- ・具体的推進方策指標9指標は、実績値が未確定等の2指標を除き、達成度Aの指標が1指標（14%）、達成度Dの指標が6指標（86%）でした。

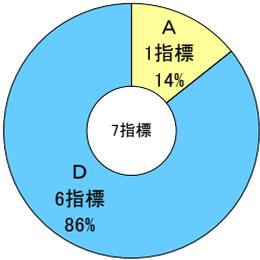
1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
28	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小 男子 73.6	75.0	74.0	-	-	14位 (2位)	- (-)	- (-)
29		小 女子 82.9	83.0	83.0	-	-	9位 (2位)	- (-)	- (-)
30		中 男子 77.7	78.0	78.0	-	-	7位 (1位)	- (-)	- (-)
31		中 女子 91.3	91.5	91.5	-	-	8位 (1位)	- (-)	- (-)

【特記事項】

- ・ 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となったため、全ての実績値が測定できませんでした。なお、令和2年度においては、望ましい運動習慣の形成に向けて「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」の推進を図るとともに、各校の要望に応じて指導主事を派遣するなど、よりよい授業づくりの支援に取り組みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
 <p>7指標 A 1指標 14% D 6指標 86%</p>	<p>具体的推進方策指標9指標は、実績値が未確定等の2指標を除き、達成度Aの指標が1指標（14%）、達成度Dの指標が6指標（86%）でした。</p>

(1) 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
160 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	◎89	89	89	-	-

【特記事項】

- 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となったため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、望ましい運動習慣の形成に向けて「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」の推進を図るとともに、各校の要望に応じて指導主事を派遣するなど、よりよい授業づくりの支援に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	7	5	5	0	0	0	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 適切な部活動体制の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
161 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合	%	中 80.2	100	90	79.5	D
162		高 -	100	80	93.3	A

【特記事項】

- 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者が参集する形での開催実績は目標値を下回ったため、中学校の達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、部活動連絡会の書面開催等により共通理解を図る取組を実施しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	107	70	18	7	0	45	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	5 (72%)	1 (14%)	0 (0%)	1 (14%)

(3) 健康教育の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
163 「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	%	小 ◎88.1	91	89	86.7	D
164		中 ◎86.2	89	87	85.2	D
165 ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合	%	小 ◎89	100	94	90	D
166		中 ◎85	100	93	87	D
167 【再掲】		高 ◎83	100	91	-	-
168 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	73.7	100	100	85.1	D

【特記事項】

- 「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合は、望ましい運動習慣の形成に向けた「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」に取り組んだものの、適切な食習慣、生活習慣の確立に向けた取組を、望ましい運動習慣と一体的に関連づけながら効果的に推進できなかったことなどを一因に、「肥満」の割合の増加に加え、「やせ」の出現率に減少が見られなかったため、小学生、中学生ともに達成度は【D】

となりました。

- ・ ルールを守って情報機器（スマートフォン等）を利用することが大切だと思う児童生徒の割合は、情報モラル教育に関する教員研修会の開催など、情報モラル教育の充実に向けて取り組んだ結果、昨年度に比べて実績値が向上しており、高い水準を維持していますが、こうした取組には継続性が必要であり、児童生徒の情報モラルの意識が浸透するのに時間を要することから、小学生及び中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、情報モラル教育に係る生徒の主体的な取組事例を県内の高等学校に紹介しました。
- ・ 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した学校があったため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、啓発資料やポスターを配付し、効果的な薬物乱用防止教育の実施を支援しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	27	26	1	0	0	25	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和3年県民意識調査によると「子どもの体力向上や心身の健康保持」の重要度は23位、満足度は12位となり、ニーズ度は33位となっています。

14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

（基本方向）

特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの自立や社会参加を目指し、切れ目のない支援が行われるよう、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用などにより、就学前から卒業後までの一貫した支援を充実します。

また、全ての児童生徒が地域の学校で共に学ぶことができるよう、通級による指導や特別支援学級での指導の充実などにより、一人ひとりの教育ニーズに対応します。

さらに、特別支援教育の指導・支援体制の充実を図るため、全ての学校を対象とした研修の充実などにより、教職員の専門性の向上を図ります。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 B の指標が 1 指標（100%）でした。

・具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 8 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	—	68.0	64.0	60.8	B	—	—	—

2 県の実施（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>8指標 A 7指標 87%</p> <p>B 1指標 13%</p>	<p>具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 8 指標（100%）でした。</p>

(1) 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
169 「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	—	100	50	68	A
170 「特別支援学校と企業の連携協議会」に参加した企業数	社	70	95	85	89	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	108	107	0	11	0	96	3 (75%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 特別支援教育の多様なニーズへの対応

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
171 通級による指導に係る研修を受講した教員の割合	%	90	100	100	100	A
172 特別支援学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、看護師による医療的ケアを受けた割合	%	⑩100	100	100	100	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	114	111	21	2	0	88	5 (83%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
173 特別支援教育サポーターの登録者数	人	236	380	320	316	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 教職員の専門性の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
174	特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した教員数〔累計〕	人	小	316	158	187	A
175			中	164	82	91	A
176			高	67	34	38	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	
						(50%)	(50%)	(0%)	(0%)	(50%)	(50%)	(0%)	(0%)	

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「全ての子どもが学べる環境」の重要度は18位、満足度は24位となり、ニーズ度は21位となっています。

15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

（基本方向）

全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ防止対策や、組織的な指導体制の充実により、いじめ事案への適切な対応に取り組みます。

また、不登校などの未然防止、早期発見・適切な対応を推進するため、教育相談体制の一層の充実や関係機関と連携した教育機会の提供等により、児童生徒に寄り添った不登校対策を推進します。

さらに、児童生徒が情報化社会等において健全な生活を送るため、情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動などにより、児童生徒が適切な情報活用に関する能力や規範意識を身に付ける取組を推進します。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 3 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A の指標が 2 指標（100%）でした。

・ 具体的推進方策指標 10 指標は、実績値が未確定等の 5 指標を除き、達成度 D の指標が 5 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
23 人が困っているときは、進	%	小 ㊸66	70	68	69	A	-	-	-
24 んで助けようと思う児童生		中 ㊸64	68	66	68	A	-	-	-
25 徒の割合		高 ㊸57	61	59	-	-	-	-	-

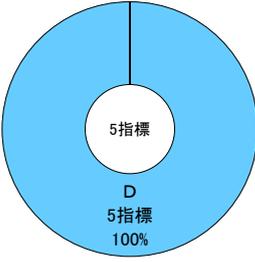
【特記事項】

- 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和 2 年度においては、各教科の学習やホームルーム活動、新型コロナウイルス感染症への対応を工夫しながら実施した生徒会活動や学校行事など、学校の教育活動全体を通して、道徳教育や人権教育に取り組みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R2	備考
13	人	小 3.4	-	-
14 不登校児童生徒数[千人当たり]		中 25.9	-	-
15		高 13.1	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 10 指標は、実績値が未確定等の 5 指標を除き、達成度Dの指標が 5 指標（100%）でした。</p>

(1) いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
177 いじめはいけないと思う児童生徒の割合	%	小 ㊸89.1	100	94.5	—	—
		178 中 ㊸84.6	100	92.2	—	—
179 認知したいじめが解消した割合	%	—	100	100	—	—

【特記事項】

- いじめはいけないと思う児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見と適切な対処に取り組むとともに、道徳教育や人権教育の充実に取り組みました。
- 認知したいじめが解消した割合は、調査中であることから、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、いじめ事案への適切な対応に取り組むとともに、道徳教育や人権教育の充実に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	8	8	0	2	0	6	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
180	%	小 ㊸88	91	90	87	D
181 学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合		中 ㊸88	91	90	86	D
182		高 ㊸87	90	89	—	—

【特記事項】

- ・ 学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響による学校行事の縮小等、教育活動に制限が生じたことなどを一因に目標値を下回ったため、小学生及び中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した学校の教育相談体制の充実を図り、不安や悩みに対応した不登校の児童生徒の支援や、24時間子供SOSダイヤルやふれあい電話等、相談窓口の活用により、不登校対策の推進に取り組みました。

◆推進方を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
6	305	298	294	1	0	3	7 (70%)	1 (10%)	2 (20%)	0 (0%)	8 (80%)	0 (0%)	1 (10%)	1 (10%)

(3) 児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
183	%	小 ㊦89	100	94	90	D
184		中 ㊦85	100	93	87	D
185		高 ㊦83	100	91	—	—
186	%	73.7	100	100	85.1	D

【特記事項】

- ・ ルールを守って情報機器（スマートフォン等）を利用することが大切だと思う児童生徒の割合は、情報モラル教育に関する教員研修会の開催など、情報モラル教育の充実に向けて取り組んだ結果、昨年度に比べて実績値が向上しており、高い水準を維持していますが、こうした取組には継続性が必要であり、児童生徒の情報モラルの意識が浸透するのに時間を要することから、小学生及び中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、情報モラル教育に係る生徒の主体的な取組事例を県内の高等学校に紹介しました。
- ・ 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した学校があったため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、啓発資料やポスターを配付し、効果的な薬物乱用防止教育の実施を支援しました。

◆推進方を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	6	6	0	2	0	4	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和3年県民意識調査によると「いじめや不登校への適切な対処」の重要度は6位、満足度は50位となり、ニーズ度は4位となっています。

16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

(基本方向)

児童生徒の学校における安全・安心な環境が確保されるよう、学校施設等の安全点検による事故等の未然防止など学校安全計画の組織的な推進や、学校・家庭・地域・関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育、学校施設・設備の計画的な老朽化対策などを推進します。

また、地域とともにある学校、魅力ある学校づくりを進めるため、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域の連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組などを推進します。

さらに、質の高い教育を行えるよう、多様な評価に基づく採用選考試験や資質向上研修などを進めます。

[概要]

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 14 指標は、実績値が未確定等の 11 指標を除き、達成度 A、B の指標が 3 指標（100%）でした。

・具体的推進方策指標 12 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 9 指標（82%）、達成度 D の指標が 2 指標（18%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦80.9	84.9	82.9	-	-	-	-	-
20		中 ㊦77.2	81.2	79.2	-	-	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦80.7	84.7	82.7	-	-	-	-	-
22		中 ㊦80.0	84.0	82.0	-	-	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦66	70	68	69	A	-	-	-
24		中 ㊦64	68	66	68	A	-	-	-
25		高 ㊦57	61	59	-	-	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊦82.3	85.0	83.5	-	-	-	-	-
27		中 ㊦76.9	80.0	78.0	-	-	-	-	-
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 73.6	75.0	74.0	-	-	14 位 (2 位)	- (-)	- (-)
29		小 女子 82.9	83.0	83.0	-	-	9 位 (2 位)	- (-)	- (-)
30		中 男子 77.7	78.0	78.0	-	-	7 位 (1 位)	- (-)	- (-)
31		中 女子 91.3	91.5	91.5	-	-	8 位 (1 位)	- (-)	- (-)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	-	68.0	64.0	60.8	B	-	-	-

【特記事項】

- ・ 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、児童生徒が課題解決に向けて自ら取り組める授業づくりを進めるため、各校を訪問し、授業の視察や協議を通し、児童生徒の気づきや考え、興味、関心を引き出せる授業となるよう支援を行いました。
- ・ 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、各校への訪問指導を通して、児童生徒が自分の考えを周囲の考えと比べながら見直し、より良い考えに修正するなど、対話的な学びの実現に向けた授業への改善を推進しました。
- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、各教科の学習やホームルーム活動、新型コロナウイルス感染症への対応を工夫しながら実施した生徒会活動や学校行事など、学校の教育活動全体を通して、道徳教育や人権教育に取り組みました。
- ・ 自己肯定感を持つ児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、道徳教育のガイドブックの活用や研修会の開催など、学校の道徳教育や人権教育等の充実に向けた支援に取り組みました。
- ・ 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となったため、全ての実績値が測定できませんでした。なお、令和2年度においては、望ましい運動習慣形成に向けて「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」の推進を図るとともに、各校の要望に応じて指導主事を派遣するなど、よりよい授業づくりの支援に取り組みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R2	備考
13	不登校児童生徒数[千人当たり]	小 3.4	-	-
14		中 25.9	-	-
15		高 13.1	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>A 5指標 46% B 4指標 36% D 2指標 18% 11指標</p>	<p>具体的推進方策指標 12 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 9 指標（82%）、達成度 D の指標が 2 指標（18%）でした。</p>

(1) 安心して学べる環境の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
187 地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合	%	75.8	81	79.0	81.6	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	8	6	5	0	0	1	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 安全で快適な学校施設の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
188 県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数[累計]	施設	③01	3	3	3	A
189 県立学校の耐震化率	%	98.2	100	100	100	A
190 公立学校のトイレ洋式化率(洋便器数/総便器数)	%	37.6	42.8	40.2	44.1	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
8	7,895	3,469	38	245	2,958	228	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 目標達成型の学校経営の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
191 コミュニティ・スクール設置市町村数[再掲]	市町村	4	33	11	11	A
192 学校経営計画の目標が概ね達成できたと評価した学校の割合	%	③80	100	100	89	D

【特記事項】

- 学校経営計画の目標が概ね達成できたと評価した学校の割合は、会議等での周知や学校評価を通じ、学校経営計画の取組の推進を図ってきましたが、目標の下に多くの達成指標を掲げたため、達成できなかった指標が複数生じ、目標を達成できなかった事例などがあり、達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	1	1	0	0	0	1	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)

(4) 魅力ある学校づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
193 各高校の特色が中学校で十分理解されている割合	%	③80	100	100	98	B
194 地域や産業界等と連携し魅力ある学校づくりに取り組んでいる高校の割合	%	③86	100	100	91	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	26	24	0	0	0	24	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(5) 多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
195	%	小 ㊦75	100	100	88	D
196		中 ㊦48	100	100	95	B
197		高 ㊦81	100	100	—	—

【特記事項】

- ・ 悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている児童生徒の割合は、県内の児童生徒に相談窓口を周知するカードの配付、配付時期に合わせた各校での相談窓口の活用方法についての指導、計画的なSOSの出し方・受け止め方教育の実践により、学校以外の相談窓口が認知され、高い水準を維持していますが、機会を捉えて継続的に周知を図っていくことが足りなかったため、小学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、生命尊重ポスターを活用したSOSの出し方・受け止め方教育の実践とともに、相談窓口の周知を図りました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	4	4	1	0	0	3	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(6) 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
198	人	8	32	16	15	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
8	366	363	46	1	0	316	9 (90%)	0 (0%)	1 (10%)	0 (0%)	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和3年県民意識調査によると「子どもが安全・安心に学ぶことができる環境」の重要度は10位、満足度は8位となり、ニーズ度は27位となっています。

18 地域に貢献する人材を育てます

（基本方向）

郷土を愛し、岩手の復興・発展を支える人材を育成するため、「いわての復興教育」などの取組を推進し、東日本大震災津波の教訓等を県内外に発信し、後世に語り継いでいきます。

また、産業を担う人材を育成するため、総合生活力や人生設計力の育成に努め、キャリア教育を充実するとともに、各分野における専門知識や技術の習得・向上を推進します。

さらに、社会が急激に変化し、グローバル化が進展する中、国際的な視野と地域に貢献する視野を持ったグローバル人材を育成するため、海外留学などの機会を充実するとともに、岩手県の歴史・文化の探求や、地域活動への積極的な参加を促進します。

【概要】

○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、実績値が未確定なため、達成度は測定できませんでした。

- ・具体的推進方策指標 9 指標は、実績値が未確定等の 7 指標を除き、達成度 A の指標が 1 指標（50%）、達成度 D の指標が 1 指標（50%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
33 高卒者の県内就職率	%	65.8	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 ㊸86.5	88.0	87.0	-	-	-	-	-
35 中 ㊸73.2		76.0	74.5	-	-	-	-	-	
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	45.3	51.5	49.5					

【特記事項】

- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となったため、小学生、中学生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和 2 年度においては、地域の良さを知るとともに、自己の将来を考える機会とするため、企業訪問や地域を調べる学習などに取り組みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>D 1指標 50%</p> <p>2指標</p> <p>A 1指標 50%</p>	<p>具体的推進方策指標 9 指標は、実績値が未確定等の 7 指標を除き、達成度 A の指標が 1 指標（50%）、達成度 D の指標が 1 指標（50%）でした。</p>

(1) 「いわての復興教育」の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
202	自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合	%	小 ㊦53.6	60	56.5	-	-
203			中 ㊦47.5	59	53.5	-	-
204			高 ㊦53.3	64	58.5	-	-

【特記事項】

- 自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響による、全国学力・学習状況調査及び県意識調査の中止のため、小学生、中学生、高校生のいずれも実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、復興・発展を支える人材を育成するため、「いわての復興教育推進事業」に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	63	61	4	57	0	0	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
205	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%	小 ㊦66	74	70	71	A
206			中 ㊦52	60	56	52	D
207			高 ㊦51	62	54	-	-

【特記事項】

- 自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校で行う行事の延期や中止など、予定していた取組が十分に実施できなかったことから、中学生の達成度は【D】となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、高校生の実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、地域の良さの認識に向けて、新型コロナウイルス感染症への対応を工夫しながら実施した総合的な学習(探究)の時間や課題研究等において、地域の課題発見・解決学習等に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	90	81	5	66	0	10	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
208	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	㊦55	65	59	-	-

【特記事項】

- ・ 将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、特別活動を中心としつつ、各教科においてもキャリア教育に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	26	20	0	10	0	10	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) ものづくり産業人材の育成・確保・定着

(5) 農林水産業の将来を担う人材の育成

(6) 建設業の将来を担う人材の確保、育成

(7) 情報通信技術（ICT）人材の育成

(8) 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

(9) 岩手と世界をつなぐ人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
217 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 37.1	50	42.0	—	—
218 いる英語力を有している生徒の割合		高 35.9	50	41.0	—	—

【特記事項】

- ・ 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、英語教育実施状況調査が中止となったため、中学生、高校生ともに実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、英語力向上に向けて、各校において現状の把握を行い、授業改善の推進に取り組みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
8	192	184	0	1	0	183	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (66%)	1 (17%)	0 (0%)	1 (17%)

(10) 地域産業の国際化に貢献する人材の育成

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和3年県民意識調査によると「次代を担う人材育成」の重要度は30位、満足度は34位となり、ニーズ度は28位となっています。

31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

（基本方向）

県民一人ひとりが能力を発揮でき、ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境に向け、様々な分野における雇用機会の確保や長時間労働の是正などの働き方改革を推進するとともに、企業の収益力の向上等を支援し、正規雇用の拡大や処遇の改善など県内企業の雇用・労働環境の整備を促進します。

また、関係団体・機関が連携し、若者等の県内就業を推進するとともに、U・Iターン希望者のニーズを捉えた取組を推進します。

さらに、岩手の将来を担う若者をはじめ、女性・高齢者・障がい者等のあらゆる人が持てる能力を最大限に発揮することを可能とする職業能力の開発などに取り組みます。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

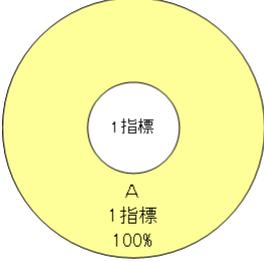
指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
48 一人当たり県民所得の水 準※	%	⑳88.7	㉔90.0	㉑90.0					
49 正社員の有効求人倍率	倍	0.84	1.03	0.96					
50 総実労働時間[年間][再 掲]	時間	1,858.8	1,720.8	1,776.0	教育関連以外のものは非表示としています。				
51 完全失業率	%	2.1	1.6	1.8					
52 高卒者の県内就職率[再 掲]	%	65.8	84.5	84.5					

※ 全国を100とした水準

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R2	備考
18 非正規職員・従業員率	%	35.7		
19 雇用者一人当たり雇用者報酬	千円	㉔4,037		教育関連以外のものは非表示 としています。
20 現金給与総額[5人以上、毎月]	円	277,009		

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 県内就業の促進及び U・I ターンによる人材確保の推進

(2) 女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援

(3) 安定的な雇用の促進

(4) 雇用・労働環境の整備の促進

(5) 子育てと仕事の両立を図る家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
326	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	60.0	67.0	A

(6) 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- 令和 3 年県民意識調査によると「安定した就職環境」の重要度は 12 位、満足度は 55 位となり、ニーズ度は 1 位となっています。

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が 受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

（基本方向）

県民の郷土愛を醸成するため、本県出身の偉人や様々な文化財などを活用し、歴史への理解促進に向けた取組を推進するとともに、本県が誇る民俗芸能について、触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進します。

また、本県の豊かな歴史資源や本県が誇る伝統文化を生かした地域活性化を図るため、様々な文化財や多種多様な民俗芸能などの伝統文化を活用し、人的・経済的な交流を推進します。

さらに、市町村と連携しながら、文化財の適切な保存・継承を行うとともに、地域の活性化のために活用が図られるよう取り組みます。

【概要】

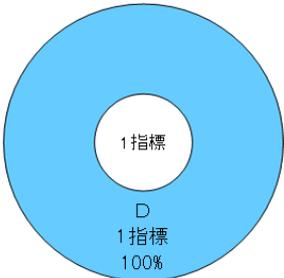
○政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度Bの指標が 1 指標（100%）でした。

・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度Dの指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	927	教育関連以外のは非表示としています。				
63 国、県指定文化財件数	件	③0565	581	573	572	B	31位 (3位)	31位 (3位)	横ばい (横ばい)
64 民俗芸能ネットワーク加盟 団体数	団体	396	396	396					

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度Dの指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信

(2) 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

(3) 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信

(4) 様々な文化財などを活用した交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
443 文化財保存活用地域計画を策定した市町村数〔累計〕	市町村	—	22	8	0	D

【特記事項】

- 文化財保存活用地域計画を策定した市町村数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響によりワーキンググループや協議会の開催が延期になるなど、策定に着手済みの市町村においてはスケジュールを見直す必要性が生じたため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度は、岩手県文化財保存活用大綱を策定し、市町村の地域計画策定に向けた方向性を示すとともに、策定に向けた市町村の協議会での助言等を行いました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
9	712	685	275	21	8	381	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (83%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境」の重要度は40位、満足度は16位となり、ニーズ度は45位となっています。

46 安全・安心を支える社会資本を整備します

（基本方向）

自然災害から県民の暮らしを守るため、河川改修や津波防災施設、砂防施設、農業水利施設、治山施設、漁港施設の整備などのハード対策と、災害関連情報の充実強化などのソフト施策を効果的に組み合わせた、防災・減災対策を推進します。

また、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化などを推進します。

さらに、日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルート of 整備や地域の実情に応じた道路整備、冬期間の道路交通確保対策、通学路等への歩道の整備などを推進します。

これらの社会資本の整備に当たっては、必要な事業量を計画的に確保しながら取組を推進します。

【概要】

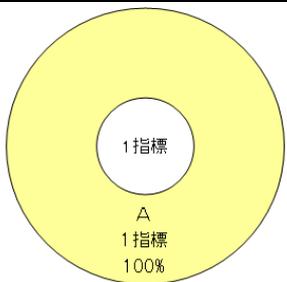
- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
73 河川整備率	%	48.9	51.3	50.0					
74 緊急輸送道路の整備延長	km	—	38.1	21.8					

教育関連以外のものは非表示としています。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) ハード対策とソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策

(2) 公共建築物等の耐震化による安全の確保

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
492 県立学校の耐震化率【再掲】	%	98.2	100	100	100	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	6,784	3,288	34	235	2,936	83	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 災害に強い道路ネットワークの構築

(4) 日常生活を支える安全な道づくりの推進

(5) 自然災害に強い農山漁村づくりの推進【再掲】

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「災害に強く安心して暮らせる県土」の重要度は5位、満足度は26位となり、ニーズ度は9位となっています。



49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります

（基本方向）

男女が共に生きやすく、多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境づくりを進めます。

また、若者・女性、高齢者、障がい者の活躍に向け、若者の主体的な活動の活性化につながる取組や女性のライフステージ、ライフスタイルに対応した活躍の支援、高齢者の豊かな経験・知識などを生かした社会貢献活動への参加、障がい者が住み慣れた地域で活躍できるような社会参加に向けた取組などを促進します。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R2	比較
77 労働者総数に占める女性の割合	%	38.1	40.7	39.6					
78 障がい者の雇用率	%	2.16	2.30	2.20					
79 高齢者のボランティア活動比率	%	—	28.9	28.7	教育関連以外のものは非表示としています。				
80 共働き世帯の男性の家事時間割合〔週平均〕※【再掲】	%	34.2	40.0	38.0					
81 審議会等委員に占める女性の割合	%	30)37.4	40.0	40.0					

※ 女性の家事時間に対する割合

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>3指標 A 3指標 100%</p>	<p>具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標（100%）でした。</p>

(1) 多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度
530	学校における男女混合名簿の使用率	小 ㊸39	100	65	87	A
531		中 ㊸21	100	50	75	A
532		高 ㊸81	100	100	100	A

(2) 若者の活躍支援

(3) 女性の活躍支援

(4) 高齢者の社会貢献活動の促進

(5) 障がい者の社会参加の促進・職業能力開発の支援

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- 令和3年県民意識調査によると「個性と能力を發揮できる社会の実現」の重要度は28位、満足度は45位となり、ニーズ度は15位となっています。

参考資料 1 令和2年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表

達成度：平成29年度現状値を基準とし、令和2年度実績値が、
令和2年度目標値に対し、どのくらい達成できたかを示す割合

【A】達成……………達成度の割合が100%以上
 【B】概ね達成……………達成度の割合が80%以上100%未満
 【C】やや遅れ……………達成度の割合が60%以上80%未満
 【D】遅れ……………達成度の割合が60%未満

指標 No.	政策項目		単位	H29 現状	R 2				
	具体的な推進方策	具体的な推進方策指標			目標	実績	達成度		
幸福11	No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります		生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	42.2	44.0	A	
推進60	①多様な学習機会の充実	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数		人	792	860	861	A	
推進61		生涯学習情報提供システム（ホームページ）利用件数		件	63,542	79,000	—	—	
推進62		「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合		%	小 ㊸45	47	46	D	
推進63				%	中 ㊸42	46	40	D	
推進64				%	高 ㊸38	44	39	D	
推進65		放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】		%	13.0	60.0	67.0	A	
推進66		②岩手ならではの学習機会の提供	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数		人	850	1050	623	D
推進67		③学びと活動の循環による地域の活性化	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数【再掲】		人	792	860	861	A
推進68			教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数		件	㊸ 4,224	4,684	3,411	D
推進69		④社会教育の中核を担う人材の育成	社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数		人	79	103	121	A
推進70	⑤多様な学びのニーズに応じた拠点の充実	◆県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合		%	91	91	93	A	
推進71		◆県立青少年の家における利用者の満足度の割合		%	97	97	98	A	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
—	No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります		—	—	—	—	—	—
推進81	③子育て家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】		%	13.0	60.0	67.0	A
推進93	⑥家庭教育を支える環境づくりの推進	すこやかメールマガジンの登録人数		人	1,041	3,000	3,043	A
推進94		子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数		人	502	550	579	A
—	No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます		—	—	—	—	—	—
推進95	①学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり	コミュニティ・スクール設置市町村数		市町村	4	11	11	A
推進96		地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合		%	小 79.0	82.0	100	A
推進97				%	中 60.0	64.2	92.7	A
推進98		教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】		件	㊸ 4,224	4,684	3,411	D
推進99	②豊かな体験活動の充実	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合		%	13.0	60.0	67.0	A
推進101		◆県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合		%	㊸ 98	98	100	A
推進102	③県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進	特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】		人	236	320	316	B
—	No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります		—	—	—	—	—	—
推進114	②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】		%	13.0	60.0	67	A

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福19	No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.9	82.9	—	—	
幸福20			%	中 ㊦ 77.2	79.2	—	—	
幸福21		授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.7	82.7	—	—	
幸福22			%	中 ㊦ 80.0	82.0	—	—	
推進122	①これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成	◆児童生徒が調べたことなどを適切に表現する指導をしている学校の割合	%	小 70	100	97	B	
推進123			%	中 50	100	95	B	
推進124			%	高 —	100	100	A	
推進125		授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合	%	小 ㊦85	87	90	A	
推進126			%	中 ㊦83	85	88	A	
推進127			%	高 ㊦54	56	—	—	
推進128		学校の授業が分かる児童生徒の割合	%	小 ㊦90	92	90	D	
推進129			%	中 ㊦77	79	81	A	
推進130			%	高 ㊦76	78	—	—	
推進131		幼保小の円滑な連携に取り組んでいる小学校の割合	%	㊦ 59	100	98	B	
推進132		つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合	%	小 ㊦85	87	89	A	
推進133			%	中 ㊦88	90	89	D	
推進134			%	高 ㊦90	92	—	—	
推進135		②諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実	ICT機器を活用して、効果的な教材研究や授業をすることができる高校教員の割合	%	㊦ 90	96	—	—
推進136	弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒の割合		%	小 ㊦74	78	67	D	
推進137			%	中 ㊦62	66	59	D	
推進138			%	高 ㊦43	47	—	—	
推進139	③社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進	課題を見つけ解決策を考えていく探究活動に取り組んでいる高校の割合	%	㊦ 82	90	100	A	
推進140		生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	70	73	63	D	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福23	No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦ 66	68	69	A	
幸福24			%	中 ㊦ 64	66	68	A	
幸福25			%	高 ㊦ 57	59	—	—	
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊦ 82.3	83.5	—	—	
幸福27			%	中 ㊦ 76.9	78.0	—	—	
推進141	①自他の生命を大切にし、他者の人権を尊重する心の育成	自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合	%	小 ㊦85	89	86	D	
推進142			%	中 ㊦88	91	88	D	
推進143			%	高 ㊦77	79	—	—	
推進144	②学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成	学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦79	83	86	A	
推進145			%	中 ㊦84	85	83	D	
推進146			%	高 ㊦85	85	—	—	
推進147		「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小 ㊦45	47	46	D	
推進148			%	中 ㊦42	46	40	D	
推進149		%	高 ㊦38	44	39	D		
推進150	③学校における文化芸術教育の推進	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合	%	小 ㊦70	74	72	D	
推進151			%	中 ㊦71	74	68	D	
推進152			%	高 ㊦79	82	—	—	
推進154	④主権者教育などによる社会に参画する力の育成	話し合いの場で、少数意見にも耳を傾け、意見をまとめている児童生徒の割合	%	小 ㊦77	81	82	A	
推進155			%	中 ㊦81	85	89	A	
推進156			%	高 ㊦73	77	—	—	
推進157		社会の動きや出来事に関するニュースに関心がある児童生徒の割合	%	小 ㊦82	84	91	A	
推進158			%	中 ㊦75	81	93	A	
推進159		%	高 ㊦72	80	—	—		

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福28	No.13 【体育】児童生徒の健やかな 体を育みます	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男 73.6	74.0	—	—	
幸福29			%	◆小 女 82.9	83.0	—	—	
幸福30			%	◆中 男 77.7	78.0	—	—	
幸福31			%	◆中 女 91.3	91.5	—	—	
推進160	①豊かなスポーツライフに向けた学校 体育の充実	◆運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	㊸ 89	89	—	—	
推進161	②適切な部活動体制の推進	部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を 図る部活動連絡会を開催している学校の割合	%	中 80.2	90	79.5	D	
推進162			%	高 —	80	93.3	A	
推進163	③健康教育の充実	「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	%	小 ㊸88.1	89	86.7	D	
推進164			%	中 ㊸86.2	87	85.2	D	
推進165		ルールを守って情報機器（スマートフォン等）を利用することが大切だ と思う児童生徒の割合【再掲】	%	小 ㊸89	94	90	D	
推進166			%	中 ㊸85	93	87	D	
推進167			%	高 ㊸83	91	—	—	
推進168		喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割 合	%	73.7	100	85.1	D	
幸福32	No.14 共に学び、共に育つ特別支援 教育を進めます	特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	—	64.0	60.8	B	
推進169	①就学前から卒業後までの一貫した 支援の充実	「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割 合	%	—	50	68	A	
推進170			「特別支援学校と企業との連携協議会」に参加した企業数	社	70	85	89	A
推進171	②特別支援教育の多様なニーズへの 対応	◆通級による指導に係る研修を受講した教員の割合	%	90	100	100	A	
推進172			◆特別支援学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、看護師による医 療的ケアを受けた割合	%	㊸ 100	100	100	A
推進173	③県民と協働した特別支援教育体制 づくりの推進	特別支援教育サポーターの登録者数	人	236	320	316	B	
推進174	④教職員の専門性の向上	特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した教員数（累計）	人	小 —	158	187	A	
推進175			人	中 —	82	91	A	
推進176			人	高 —	34	38	A	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福23	No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくれます	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合		%	小 ㊦ 66	68	69	A
幸福24				%	中 ㊦ 64	66	68	A
幸福25				%	高 ㊦ 57	59	—	—
推進177	①いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処	いじめはいけないと思う児童生徒の割合		%	小 ㊦89.1	94.5	—	—
推進178				%	中 ㊦84.6	92.2	—	—
推進179			◆認知したいじめが解消した割合	%	-	100	—	—
推進180	②児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進	学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合		%	小 ㊦88	90	87	D
推進181				%	中 ㊦88	90	86	D
推進182				%	高 ㊦87	89	—	—
推進183	③児童生徒の健全育成に向けた対策の推進	ルールを守って情報機器（スマートフォン等）を利用することが大切だと思う児童生徒の割合		%	小 ㊦89	94	90	D
推進184				%	中 ㊦85	93	87	D
推進185				%	高 ㊦83	91	—	—
推進186		喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合【再掲】		%	73.7	100.0	85.1	D

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福19	No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊸ 80.9	82.9	—	—	
幸福20			%	中 ㊸ 77.2	79.2	—	—	
幸福21		授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊸ 80.7	82.7	—	—	
幸福22			%	中 ㊸ 80.0	82.0	—	—	
幸福23		人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊸ 66	68	69	A	
幸福24			%	中 ㊸ 64	66	68	A	
幸福25			%	高 ㊸ 57	59	—	—	
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊸ 82.3	83.5	—	—	
幸福27			%	中 ㊸ 76.9	78.0	—	—	
幸福28		体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男 73.6	74.0	—	—	
幸福29			%	◆小 女 82.9	83.0	—	—	
幸福30			%	◆中 男 77.7	78.0	—	—	
幸福31			%	◆中 女 91.3	91.5	—	—	
幸福32			特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	—	64.0	60.8	B
推進187	①安心して学べる環境の整備	地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合	%	㊹ 75.8	79.0	81.6	A	
推進188	②安全で快適な学校施設の整備	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数（累計）	施設	㊸ 1	3	3	A	
推進189		県立学校の耐震化率	%	98.2	100	100	A	
推進190		県立学校のトイレ洋式化率（洋便器数/総便器数）	%	37.6	40.2	44.1	A	
推進191	③目標達成型の学校経営の推進	コミュニティ・スクール設置市町村数【再掲】	市町村	4	11	11	A	
推進192		学校経営計画の目標が概ね達成できたと評価した学校の割合	%	㊸ 80	100	89	D	
推進193	④魅力ある学校づくりの推進	◆各高校の特色が中学校で十分理解されている割合	%	㊸ 80	100	98	B	
推進194		◆地域や産業界等と連携し魅力ある学校づくりに取り組んでいる高校の割合	%	㊸ 86	100	91	B	
推進195	⑤多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供	悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている児童生徒の割合	%	小 ㊸ 75	100	88	D	
推進196			%	中 ㊸ 48	100	95	B	
推進197			%	高 ㊸ 81	100	—	—	
推進198	⑥教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上	教職大学院の現職教員修了者数（累計）	人	8	16	15	B	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2			
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度	
幸福34	No.18 地域に貢献する人材を育てます	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合		%	小 ㊸ 86.5	87.0	—	—	
幸福35				%	中 ㊸ 73.2	74.5	—	—	
推進202		①「いわての復興教育」の推進	自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合		%	小 ㊸53.6	56.5	—	—
推進203					%	中 ㊸47.5	53.5	—	—
推進204					%	高 ㊸53.3	58.5	—	—
推進205					%	小 ㊸66	70	71	A
推進206		②郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合		%	中 ㊸52	56	52	D
推進207					%	高 ㊸51	54	—	—
推進208			③キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成		%	㊸ 55	59	—	—
推進217		④岩手と世界をつなぐ人材の育成	中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合		%	中 37.1	42.0	—	—
推進218					%	高 35.9	41.0	—	—
—	No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります	—		—	—	—	—	—	
推進326	⑤子育てと仕事の両立を図る家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】		%	13.0	60.0	67.0	A	
幸福63	No.41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます	国、県指定文化財件数		件	㊸ 565	573	572	B	
推進443	④様々な文化財などを活用した交流の推進	文化財保存活用地域計画を策定した市町村数（累計）		市町村	—	8	0	D	
—	No.46 安全・安心を支える社会資本を整備します	—		—	—	—	—	—	
推進492	②公共建築物等の耐震化による安全の確保	県立学校の耐震化率【再掲】		%	98.2	100	100	A	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	H29 現状	R 2		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
—	No.49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくれます		—	—	—	—	—	—
推進530	①多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備	学校における男女混合名簿の使用率	%	小 ㊦39	65	87	A	
推進531			%	中 ㊦21	50	75	A	
推進532			%	◆高 ㊦81	100	100	A	

◆：維持することを目標としている指標

◎いわて幸福関連指標※

	指標数	割合
A	3	60%
B	2	40%
C	0	0%
D	0	0%
未確定	13	—
計	18	—

※複数の政策項目に関連しているいわて幸福関連指標の指標数は「1」としています。

◎具体的推進方策指標

	指標数	割合
A	45	51%
B	9	10%
C	0	0%
D	34	39%
未確定	26	—
計	114	—

3 いわて県民計画(2019~2028)政策推進プラン 事務事業一覧表

事務事業評価一覧表の見方

【Ⅲ 教育】79事業（再掲24事業を除く）

番号	部署名	区分	コロナ関連	計画関連	事業名	令和2年度					
						最終予算額(千円)	決算額(千円)	国庫	その他	県債	一般
11 【知育】児童生徒の豊かな学力を育みます											
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成											
278	教委	再			中高連携英語力向上推進事業【学校教育課】	301	285				285
188	教委				中高連携数学学力向上推進事業【学校教育課】	508	461				461
189	教委				いわて幼児教育センター(仮称)推進事業【学校教育課】	347					
190	教委				情報活用能力育成推進事業【学校教育課】	161	132				132
191	教委				教職員研修費(授業力向上研)【学校課教務課】	5,669	5,476		1,376		
281	教委	再			いわての地域国際化人材育成事業【学校教育課】	790	(8,787)				(8,787)
192	教委				指導課費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業)【学校教育課】	3,206	3,205		3,205		
② 情報やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実											
193	教委				いわて教育情報ネットワーク整備費【教育企画室】	491,302	491,302			488,000	
194	教委		コ		県立学校ICT機器整備事業【教育企画室】	814,028	320,286	85,636	229,000	5,450	491,302
195	教委				いわて学びの環境整備事業【教育企画室】	24,538	23,796				23,796
196	教委				小中高をつなぐ子どもの学びの環境整備事業【学校教育課】	5,776	5,620				5,620

■事務事業評価一覧表

- 令和2年度に実施した政策的な事務事業について「予算・決算額」、「達成度」について取りまとめた表です。
- 10の政策ごとの事業数を記載しています。

■政策項目

50の政策項目名を記載しています。

■具体的な推進方策

県が主体となって取り組む「具体的な推進方策」を記載しています。

■復興推進プラン・総合戦略関連

復興推進プランに掲げられる事業について「復」を、岩手県ふるさと復興総合戦略に掲げられる事業について「総」を表示しています。

■令和2年度(千円)

令和2年度の最終予算額、決算額、翌年度への繰越額を記載しています。

■区分

主掲事業の再掲となる事業には「再」を表示しています。

■コロナ関連

新型コロナウイルス感染症関連の事業には「コ」を表示しています。

■指標結果

- 政策推進プランを構成する事業については、「活動内容指標」及び「成果指標」の令和2年度の実績値及び達成度を表しています。

・達成度の判定

達成度	目標達成率	達成率の算出方法
A	100%以上	<通常の指標、維持指標の場合> 達成率=実績値/目標値×100
B	80%以上100%未満	<マイナズ指標の場合> 達成率=目標値/実績値×100
C	60%以上80%未満	
D	60%未満	

- 「-」は、実績が未確定等により判定できないものです。

指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
英語ディベート研修会開催回数	回	1	1	A	研修会を受講する高校教員数	人	30	36	A
研修会開催回数	回	9	3	D	研修会に参加した中高教員の延べ人数	人	350	178	D
幼小接続研修会開催回数	回	2	-	-	幼小接続研修会の参加人数	人	100	-	-
小学校プログラミング教育リーダ育成講座の開催回数	回	3	-	-	小学校プログラミング教育実践資料集の配布校数	校	300	-	-
校種ごとの実施講座数	講座	14	14	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A
英検I&A実施学校の割合	%	100	100	A	英検I&Aの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	英検I&Aの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ高等学校の割合	%	100	100	A
イーハトーブ・キャンプの開催回数	回	2	-	-	イーハトーブ・キャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変化が見られた児童生徒の割合	%	80	-	-
-	-	-	-	-	非常勤事務職員配置人数	人	-	-	-
非常勤事務職員配置人数	人	3	3	A	SSH事業を活用した高等学校数	校	3	3	A
-	-	-	-	-	県立学校におけるICT機器を活用できるネットワーク基盤整備率	%	100	100	A
ICT機器整備校数	校	-	-	-	県立学校におけるICT機器整備率	%	-	-	-
大型提示装置整備校数	校	20	24	A	県立学校における大型提示装置整備率	%	24	29	A
県立附属中学校及び県立特別支援学校小学部・中学部1人1台端末整備校数	校	16	16	A	県立附属中学校及び県立特別支援学校小学部・中学部1人1台端末整備率	%	100	100	A
研究指定校数	校	7	7	A	-	-	-	-	-
小中学校における調査の実施	%	100	-	-	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	-	-

【 I 健康・余暇】5事業（再掲8事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます												
① 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実												
(126)	教委	再	コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(331,658)	(327,787)	(1,272)	(12,377)		(314,138)	(0)
(127)	教委	再	コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(406,383)	(406,376)	(1,299)	(37,497)		(367,580)	(0)
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります												
① 多様な学習機会の充実												
(182)	教委	再		復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化財課】	(129,991)	(113,920)	(113,794)			(126)	(0)
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(47,868)	(44,912)	(23,933)			(20,979)	(0)
124	教委			総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】	347	274				274	0
② 岩手ならではの学習機会の提供												
(126)	教委	再	コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(331,658)	(327,787)	(1,272)	(12,377)		(314,138)	(0)
(127)	教委	再	コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(406,383)	(406,376)	(1,299)	(37,497)		(367,580)	(0)
③ 学びと活動の循環による地域の活性化												
(182)	教委	再		復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化財課】	(129,991)	(113,920)	(113,794)			(126)	(0)
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(47,868)	(44,912)	(23,933)			(20,979)	(0)
125	教委			総	社会教育団体活動費補助【生涯学習文化財課】	1,570	1,170				1,170	0
⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実												
126	教委		コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	331,658	327,787	1,272	12,377		314,138	0
127	教委		コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	406,383	406,376	1,299	37,497		367,580	0
128	教委			復・総	体育施設災害復旧事業費(県立野外活動センター災害復旧事業費)【生涯学習文化財課】	3,957,099	3,726,609	1,766,859			1,959,750	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	46,500	22,499	D
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	25	D	美術館入館者数	人	52,000	43,271	B
—	—	—	—	—	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
—	—	—	—	—	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
補助市町村数	市町村	14	14	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
—	—	—	—	—	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	78.8	B
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	46,500	22,499	D
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	25	D	美術館入館者数	人	52,000	43,271	B
—	—	—	—	—	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
—	—	—	—	—	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
補助市町村数	市町村	14	14	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
—	—	—	—	—	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
—	—	—	—	—	社会教育団体への補助件数	件	10	9	B
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	46,500	22,499	D
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	25	D	美術館入館者数	人	52,000	43,271	B
野外活動センターの災害復旧	箇所	1	1	A	—	—	—	—	—

【Ⅱ 家族・子育て】17事業（再掲7事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります												
③ 子育て家庭への支援												
(182)	教委	再		復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化財課】	(129,991)	(113,920)	(113,794)			(126)	(0)
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(47,868)	(44,912)	(22,456)			(22,456)	(0)
④ 子どもが健やかに成長できる環境の整備												
164	教委			復・総	いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	252,021	248,739		246,401		2,338	0
165	教委			復・総	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費【教育企画室】	76,512	74,700		74,700			0
166	教委			復・総	被災児童生徒就学援助事業費補助【教育企画室】	289,600	159,291	159,291				
167	教委			復・総	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助【教育企画室】	215	0	0				
168	教委			復・総	高校奨学事業費補助【教育企画室】	27,736	25,060	14,604			10,456	0
169	教委			総	定時制通信教育運営費【教育企画室】	127	51				51	
170	教委			総	定時制、通信制修学資金貸付金【教育企画室】	546	504				504	
171	教委			復・総	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費【学校調整課】	56,685	50,536		50,536			
172	教委			総	公立高等学校等就学支援金交付事業費【教育企画室】	2,496,992	2,495,565	2,495,530	35			
173	教委		コ	総	奨学のための給付金支給事業費【教育企画室】	378,621	371,360	179,788			191,572	0
174	教委			総	学び直しへの支援事業費【教育企画室】	285	281	281				
175	教委			総	専攻科等修学支援事業費【教育企画室】	713	713	356			357	
⑥ 家庭教育を支える環境づくりの推進												
179	教委			総	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)【生涯学習文化財課】	2,928	2,919				2,919	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
—	—	—	—	—	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
—	—	—	—	—	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
補助市町村数	市町村	14	14	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
—	—	—	—	—	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
—	—	—	—	—	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A
—	—	—	—	—	大学等進学支援一時金の給付率	%	100	100	A
市町村が実施する援助事業の経費補助	回	1	1	A	就学援助事業費の市町村への補助率	%	100	100	A
市町村が実施する奨励事業の経費補助	回	1	—	—	特別支援教育就学奨励事業費の補助率	%	100	—	—
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A
—	—	—	—	—	対象生徒への給与割合	%	100	100	A
—	—	—	—	—	対象生徒への貸与割合	%	100	100	A
—	—	—	—	—	教科書購入費等給付金の給付率	%	100	100	A
—	—	—	—	—	対象生徒の認定割合	%	100	100	A
—	—	—	—	—	申請対象者への給付率	%	100	100	A
—	—	—	—	—	対象生徒の認定割合	%	100	100	A
—	—	—	—	—	対象生徒の認定割合	%	100	100	A
子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	—	—	—
—	—	—	—	—	子育て相談ニーズへの対応件数	件	800	932	A

【Ⅱ 家族・子育て】17事業（再掲7事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます												
① 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり												
180	教委			総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	195	162				162	0
181	教委			総	指導運営費（県立学校コミュニティ・スクール推進事業費）【生涯学習文化財課】	174	65				65	0
182	教委			復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化財課】	129,991	113,920	113,794			126	0
183	教委			総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	47,868	44,912	22,456			22,456	0
② 豊かな体験活動の充実												
(182)	教委	再		復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化財課】	(129,991)	(113,920)	(113,794)			(126)	(0)
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(47,868)	(44,912)	(22,456)			(22,456)	(0)
③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進												
(226)	教委	再		総	特別支援教育推進事業費（いわて特別支援教育推進プラン実践事業費）【学校教育課】	(752)	(336)				(336)	
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります												
② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進												
(182)	教委	再		復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化財課】	(129,991)	(113,920)	(113,794)			(126)	(0)
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(47,868)	(44,912)	(22,456)			(22,456)	(0)

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
関係者等の研修会の開催(累計)	回	-	-	-	研修会参加人数	人	600	-	-
関係者等の研修会の開催	回	6	-	-	-	-	-	-	-
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	-	-	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	-	-
-	-	-	-	-	コミュニティ・スクール導入校	校	7	1	D
-	-	-	-	-	放課後の公的な居場所がある小学校	%	96.3	95.7	B
-	-	-	-	-	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
補助市町村数	市町村	14	14	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
-	-	-	-	-	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
-	-	-	-	-	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
-	-	-	-	-	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	66	B	研修会参加人数	人	1,800	1,574	B
-	-	-	-	-	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
-	-	-	-	-	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B
補助市町村数	市町村	14	14	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	96.3	95.7	B
-	-	-	-	-	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	14	15	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	226	C
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	3	3	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	177	B

【Ⅲ 教育】79事業（再掲24事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成												
(278)	教委	再		総	中高連携英語力向上推進事業費【学校教育課】	(311)	(285)					(285)
188	教委			総	中高連携数学学力向上推進事業費【学校教育課】	508	461					461
189	教委			総	いわて幼児教育センター(仮称)推進事業費【学校教育課】	347	164					164
190	教委			総	情報活用能力育成推進事業費【学校教育課】	161	132					132
191	教委			総	教職員研修費(授業力向上研修費)【学校調整課】	5,669	5,476		1,378			4,098
(281)	教委	再		総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育課】	(9,040)	(8,787)					(8,787)
192	教委			総	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)【学校教育課】	3,206	3,205		3,205			
② 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実												
193	教委			総	いわて教育情報ネットワーク整備費【教育企画室】	491,302	491,302			486,000		5,302
194	教委		コ	総	県立学校ICT機器整備事業費【教育企画室】	814,028	320,286	85,836		229,000		5,450
195	教委			総	いわて学びの改革研究・普及事業費【教育企画室】	24,538	23,796					23,796
196	教委			総	小中高をつなぐ子どもの学びの履歴構築事業費【学校教育課】	5,776	5,620					5,620
197	教委		コ	総	オンライン学習推進事業費【学校教育課】	45,233	44,283	44,283				
198	教委		コ	総	総合教育センター管理運営費(総合教育センターICT機器整備事業費)【学校調整課】	29,890	23,806	23,806				6,038
③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進												
199	教委			総	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)【学校教育課】	14,226	11,635					11,635
200	教委			総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究プログラム事業費)【学校教育課】	9,085	5,505					5,505
201	教委			総	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)【学校教育課】	6,879	6,879	6,879				
202	教委			総	大学入学者選抜改革対策事業費【学校教育課】	2,078	1,270					1,270
203	教委			復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育課】	13,680	9,620		9,620			
(262)	教委	再		総	いわて地域担い手育成支援事業費【学校調整課】	(11,565)	(9,783)					(9,783)

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
英語ディベート研修会開催回数	回	1	1	A	研修会を受講する高校教員数	人	30	36	A
研修会開催回数	回	9	3	D	研修会に参加した中高教員の延べ人数	人	350	178	D
幼小接続研修会開催回数	回	2	-	-	幼小接続研修会の参加人数	人	100	-	-
小学校プログラミング教育リーダー育成講座の開催回数	回	3	-	-	小学校プログラミング教育実践資料集の配布校数	校	300	-	-
校種ごとの実施講座数	講座	14	14	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ高等学校の割合	%	100	100	A
イーハートブ・キャンプの開催回数	回	2	-	-	イーハートブキャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変化が見られた児童生徒の割合	%	80	-	-
-	-	-	-	-	非常勤事務職員配置人数	人	-	-	-
非常勤事務職員配置人数	人	3	3	A	SSH事業を活用した高等学校数	校	3	3	A
-	-	-	-	-	県立学校におけるICT機器を活用できるネットワーク基盤整備率	%	100	100	A
ICT機器整備校数	校	-	-	-	県立学校におけるICT機器整備率	%	-	-	-
大型提示装置整備校数	校	20	24	A	県立学校における大型提示装置整備率	%	24	29	A
県立附属中学校及び県立特別支援学校小学部・中学部1人1台端末整備校数	校	16	16	A	県立附属中学校及び県立特別支援学校小学部・中学部1人1台端末整備率	%	100	100	A
研究指定校数	校	7	7	A	-	-	-	-	-
小中学校における調査の実施	%	100	-	-	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	-	-
オンライン学習支援サービス導入校数	校	70	68	B	オンライン学習支援サービスを利用した学校の割合	%	100	96	B
システム導入校におけるWebテストの実施回数	回	1	1	A	意識調査において、システム活用に対する肯定的な回答をした児童生徒の割合	%	70	94	A
-	-	-	-	-	ICT機器を活用できる研修室の数	室	15	15	A
合同事業の講座数	講座	7	7	A	受講生の講座満足度	%	95	95	A
理数教科に関する探究的な学習を実施した学校数	校	8	8	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
指導力向上研修回数	回	6	-	-	指導力向上研修を受講した教員数	人	180	-	-
教員の指導力向上に関する研修会の回数	回	2	2	A	研修を受講した教員数	人	150	101	C
進学支援事業実施校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施校数	校	14	12	B	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
企業見学・学校訪問、進路講話等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
実技講習会、チャレンジジョブ、郷土学習等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域伝統技術、技能を理解・伝承する取組実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域担い手育成取組校数	校	32	32	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
魅力ある学校づくり実施校	校	28	28	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A

【Ⅲ 教育】79事業（再掲24事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます												
① 自他の生命を大切にし、他人の人権を尊重する心の育成												
204	教委			総	指導運営費(人権教育研究推進事業費)【学校教育課】	0	0					
205	教委			総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育課】	0	0					
② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成												
(124)	教委	再		総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】	(347)	(274)				(274)	
206	教委			総	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)【教職員課】	900	889	0	0	0	889	
③ 学校における文化芸術教育の推進												
208	教委			総	高等学校文化活動支援事業費【学校教育課】	3,200	3,071				3,071	
209	教委			総	岩手県中学校文化連盟補助【学校教育課】	1,000	1,000				1,000	
210	教委			復・総	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助【学校教育課】	4,523	1,819		1,819			
④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成												
(205)	教委	再		総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育課】	(0)	(0)					
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます												
① 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実												
211	教委			総	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費)【保健体育課】	1,373	1,344	1,344				
212	教委			総	オリンピック・パラリンピック教育推進事業費【保健体育課】	4,986	3,449	3,449				
② 適切な部活動体制の推進												
213	教委			総	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】	45,593	36,702	8,795			27,907	
214	教委			復・総	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費(いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助)【保健体育課】	21,681	6,975		6,975			
215	教委			総	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】	20,614	14,813				14,813	
216	教委			総	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】	8,884	1,601				1,601	
217	教委			総	全国高等学校総合体育大会推進事業費(全国高等学校総合体育大会岩手県実行委員会負担金)【保健体育課】	80	42				42	
218	教委		コ		部活動全国大会代替大会開催費補助【保健体育課】	8,500	8,485	8,485				
219	教委			総	中学生スポーツ・文化活動調査事業費【保健体育課】	692	568				568	
③ 健康教育の充実												
220	教委			総	指導運営費(がん教育総合支援事業費)【保健体育課】	951	657	657				
221	教委			総	指導運営費(学校保健総合支援事業費)【保健体育課】	0	0					
222	教委			総	夜間定時制高等学校給食費【保健体育課】	30	1				1	
223	教委			復・総	児童生徒放射線対策支援事業費【保健体育課】	25,346	25,165		63		25,102	

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
研究指定校数	校	1	-	-	人権教育リーフレット配布数	部	1,250	-	-
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	6	-	-	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	-	-
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	78.8	B
司書教諭講習の受講者数	人	15	15	A	司書教諭資格の取得割合	%	100	100	A
セミナーサポート事業回数	回	20	8	D	全国高総文祭団体入賞数	団体	2	1	D
-	-	-	-	-	全国高総文祭個人入賞者数	人	1	1	A
県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	-	-
-	-	-	-	-	全国中文祭派遣個人数	人	27	-	-
文化活動支援補助団体数	団体	3	3	A	中文祭参加補助者数	人	32	-	-
-	-	-	-	-	高文祭参加補助者数	人	99	59	D
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	6	-	-	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	-	-
派遣要請校数に対する派遣実施校の割合	%	100	100	A	教員にとって指導の参考となる内容であったと回答した学校の割合	%	100	100	A
オリンピック・パラリンピアンへの派遣要請校に対する派遣実施の割合	%	100	100	A	オリンピック・パラリンピック並びにスポーツの意義や大切さに対する理解・関心が高まった児童生徒の割合	%	100	90	B
県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置校数	校	64	40	C	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	80	B
-	-	-	-	-	大会出場補助申請者数に対する補助者数の割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	申請対象者への給付率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	申請対象者への給付率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	実行委員会開催回数	回	2	1	D
-	-	-	-	-	申請団体への給付率	%	100	100	A
研究会開催回数	回	2	10	A	研究案件数	件	1	1	A
検討委員会の開催回数	回	-	-	-	研修会を「大変有意義だった」、「有意義だった」と評価した受講者の割合	%	100	100	A
研修会の開催日数	日	2	1	D	-	-	-	-	-
肥満改善検討委員会の開催回数	回	-	-	-	肥満改善資料を活用した指導の割合	%	-	-	-
研修会の開催日数	日	2	-	-	研修会を「大変有意義だった」、「有意義だった」と評価した受講者の割合	%	100	-	-
-	-	-	-	-	対象生徒への給与割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	放射能モニタリング実施校数	校	-	-	-
放射能モニタリング実施校数	校	82	82	A	測定の結果、基準値を超えない割合	%	100	100	A

【Ⅲ 教育】79事業（再掲24事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます												
① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実												
(252)	教委	再		総	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	(87,586)	(86,338)	(0)	(227)	(0)	(86,111)	(0)
(253)	教委	再		総	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	(9,286)	(9,147)	(0)	(24)	(0)	(9,123)	(0)
224	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業費)【学校教育課】	10,759	10,562		9,967		595	
② 特別支援教育の多様なニーズへの対応												
225	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業費)【学校教育課】	48,217	47,822		108		47,714	
226	教委			総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育課】	752	336				336	
227	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校スクールカウンセラー配置事業費)【学校教育課】	1,515	1,515	1,515				
228	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業費)【学校教育課】	61,263	59,252	19,726	55		39,471	
229	教委			総	施設整備費(釜石祥雲支援学校整備事業費)【教育企画室】	1,980	1,925		1,925			
③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進												
(226)	教委	再		総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育課】	(752)	(336)				(336)	
④ 教職員の専門性の向上												
(226)	教委	再		総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育課】	(752)	(336)				(336)	
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります												
① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対応												
(191)	教委	再		総	教職員研修費(授業力向上研修費)【学校調整課】	(5,669)	(5,476)		(1,378)		(4,098)	
230	教委			総	児童生徒健全育成推進費(いじめ問題総合対策事業費)【学校調整課】	1,796	1,632				1,632	
② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進												
231	教委			復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業費)【学校調整課】	22,510	20,958	20,958				
232	教委			復・総	児童生徒健全育成推進費(教育相談コーディネーター養成事業費)【学校調整課】	212	212				212	
233	教委			復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業費)【学校調整課】	259,258	255,286	254,503	783			
234	教委			復・総	児童生徒健全育成推進費(学校不適応総合対策事業費)【学校調整課】	17,988	17,167	17,167				
235	教委			総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校調整課】	3,655	3,565	1,188			2,377	
236	教委			総	児童生徒健全育成推進費(魅力ある学校づくり調査研究事業費)【学校調整課】	800	272		272			
③ 児童生徒の健全育成に向けた対策の推進												
(191)	教委	再		総	教職員研修費(授業力向上研修費)【学校調整課】	(5,669)	(5,476)		(1,378)		(4,098)	

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
校務補助員の配置人数	人	31	40	A	障がい者の実雇用率	%	2.4	2.40	A
校務補助員の配置人数	人	7	5	C	障がい者の実雇用率	%	2.4	2.40	A
企業との連携協議会対象校数	校	5	5	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A
職業指導支援員の配置及び企業との連携協議会の設置校数	校	5	5	A	企業での現場実習の実施回数	回	10	10	A
支援員配置人数	人	36	38	A	支援員の配置により成果のあった学校の割合	%	100	100	A
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	66	B	研修会参加人数	人	1,800	1,574	B
特別支援学校へのカウンセラー派遣回数	回	101	101	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	相談希望対応件数	件	101	101	A
看護師等研修会の開催	回	1	1	A	研修会参加看護師数	人	40	41	A
看護師の配置数	人	-	-	-	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A
看護師の配置率	%	100	100	A	-	-	-	-	-
設計実施箇所数	箇所	-	-	-	-	-	-	-	-
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	66	B	研修会参加人数	人	1,800	1,574	B
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	66	B	研修会参加人数	人	1,800	1,574	B
校種ごとの実施講座数	講座	14	14	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A
いじめ問題に関する研修会開催回数	回	13	11	B	研修会へ教員を参加させた学校の割合	%	100	100	A
県いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	回	2	1	D	-	-	-	-	-
スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	18	18	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	支援児童生徒数	人	170	646	A
教育相談に係わる長期研修修了者数	人	8	5	C	学校心理士資格取得率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	学校心理士資格試験受験者数	人	6	4	C
中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	148	148	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
巡回型カウンセラーの配置人数	人	11	11	A	-	-	-	-	-
スーパーバイザーの派遣箇所数	箇所	4	4	A	-	-	-	-	-
大学チームによる支援箇所数	箇所	-	-	-	-	-	-	-	-
高校カウンセラーの配置人数	人	14	14	A	◆配置希望校への対応率(高校)	%	100	100	A
自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	◆問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	自立支援相談員が対応した相談件数	件	310	324	A
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
携帯カードの作成枚数	枚	150,000	147,000	B	-	-	-	-	-
指定中学校区への指導主事訪問回数	回	30	20	C	指定中学校区での関係会議等の開催回数	回	12	5	D
校種ごとの実施講座数	講座	14	14	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A

【Ⅲ 教育】79事業（再掲24事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます												
① 安心して学べる環境の整備												
237	教委			総	指導運営費(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費)【保健体育課】	2,484	2,232	1,111			1,121	
238	教委			復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校調整課】	4,746	3,704	3,704				
② 安全で快適な学校施設の整備												
239	教委				校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】	4,355,830	1,158,855	23,518	178,004	886,000	71,333	3,187,524
240	教委				校舎大規模改造事業費(産業教育施設大規模改造事業費)【教育企画室】	96,167	72,534		27,112	44,000	1,422	5,764
241	教委				校舎建設事業費(校舎耐震改築事業費)【教育企画室】	2,331,179	2,056,182	10,533	29,272	2,006,000	10,377	218,463
242	教委				理科教育設備整備費【教育企画室】	8,299	8,299	4,023			4,276	
243	教委				産業教育設備整備費【教育企画室】	959,045	28,123			22,000	6,123	930,932
244	教委				部活動設備整備費【教育企画室】	7,739	7,739				7,739	
245	教委				情報処理教育設備整備費【教育企画室】	126,104	126,104				126,104	
246	教委			復	被災地域県立学校産業教育設備等整備費【教育企画室】	10,264	10,264		10,264			
③ 目標達成型の学校経営の推進												
(180)	教委	再		総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	(195)	(162)				(162)	(0)
(181)	教委	再		総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【生涯学習文化財課】	(174)	(65)				(65)	(0)
④ 魅力ある学校づくりの推進												
247	教委			総	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業費)【学校調整課】	13,660	13,399		15		13,384	
(262)	教委	再		総	いわて地域担い手育成支援事業費【学校調整課】	(11,565)	(9,783)				(9,783)	
⑤ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供												
(235)	教委	再		総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校調整課】	(3,655)	(3,565)	(1,188)			(2,377)	

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
スクールガード・リーダー養成講習会の開催	回	2	1	D	講習会参加者数	人	33	33	A
学校防災アドバイザー派遣校数	校	30	30	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A
防災教育研修会の開催回数	回	1	-	-	研修受講者の理解度	%	80	-	-
県立学校の校舎(小規模特別教室棟等)耐震化着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数(累計)	施設	-	-	-
県立学校の長寿命化改良・大規模改造着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	2	2	A
県立学校のトイレ洋式化改修実施施設数	施設	-	-	-	県立学校のトイレ洋式化率(洋便器数/総便器数)	%	-	-	-
県立学校の普通教室への冷房設備工事着手施設数	施設	27	27	A	県立学校の普通教室への冷房設備工事実施施設数	施設	27	27	A
県立学校の産業教育施設(小規模特別教室棟等)耐震化着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の産業教育施設(小規模特別教室棟等)耐震化完了施設数	施設	4	4	A
県立学校の校舎耐震改築工事着工数	施設	1	1	A	県立学校の耐震化率	%	100.0	100.0	A
-	-	-	-	-	理科教育設備整備学校数	校	12	12	A
-	-	-	-	-	産業教育設備整備学校数	校	4	4	A
-	-	-	-	-	部活動設備整備学校数	校	10	10	A
-	-	-	-	-	情報処理教育設備整備学校数	校	18	18	A
-	-	-	-	-	産業教育設備等整備学校数	校	14	14	A
関係者等の研修会の開催(累計)	回	-	-	-	研修会参加人数	人	600	-	-
関係者等の研修会の開催	回	6	-	-	-	-	-	-	-
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	-	-	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	-	-
-	-	-	-	-	コミュニティ・スクール導入校	校	7	1	D
高校の魅力向上に向けた意見交換会の回数	回	19	21	A	高校の魅力向上に向け意見交換を行う地域	地区	9	9	A
-	-	-	-	-	高校の魅力向上に向けた意見交換会参加者数	人	350	738	A
企業見学・学校訪問、進路講話等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
実技講習会、チャレンジショップ、郷土学習等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域伝統技術、技能を理解・伝承する取組実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域担い手取組校数	校	32	32	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
魅力ある学校づくり実施校	校	28	28	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
携帯カードの作成枚数	枚	150,000	147,000	B	-	-	-	-	-

【Ⅲ 教育】79事業（再掲24事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
⑥ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上												
248	教委				すこやかサポート推進事業費【教職員課】	128,607	128,160	20,556	337	0	107,267	0
249	教委				教職員人事管理費(教職員の健康確保推進事業費) 【教職員課】	210	163	0	0	0	163	0
250	教委				教職員費(学校生活サポート推進事業費) 【教職員課】	122,760	122,439	20,175	323	0	101,941	0
251	教委				教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業費) 【教職員課】	13,940	13,801	2,587	33	0	11,181	0
252	教委				教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費) 【教職員課】	87,586	86,338	0	227	0	86,111	0
253	教委				管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費) 【教職員課】	9,286	9,147	0	24	0	9,123	0
254	教委			復	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費) 【教職員課】	2,689	2,687	2,680	7	0	0	0
255	教委				教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費 補助) 【教職員課】	144	0	0	0	0	0	0
18 地域に貢献する人材を育てます												
① 「いわての復興教育」の推進												
(238)	教委	再		復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費) 【学校調整課】	(4,746)	(3,704)	(3,704)				
259	教委			復・総	いわての復興教育推進事業費【学校調整課】	57,602	56,560		56,560			
② 郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進												
(238)	教委	再		復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費) 【学校調整課】	(4,746)	(3,704)	(3,704)				
(259)	教委	再		復・総	いわての復興教育推進事業費【学校調整課】	(57,602)	(56,560)		(56,560)			
260	教委			総	指導運営費(地域との協働による高等学校教育改革推 進事業費) 【学校調整課】	1,721	870	870				
(262)	教委	再		総	いわて地域担い手育成支援事業費【学校調整課】	(11,565)	(9,783)				(9,783)	
(203)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育課】	(13,680)	(9,620)		(9,620)			

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	90	90.3	A
14～16人複式学級への非常勤講師配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	90.3	A
学習課題に積極的に取り組もうとする学校への非常勤講師配置率	%	100	-	-	-	-	-	-	-
生徒指導面において課題のある学校への非常勤講師配置率	%	100	-	-	-	-	-	-	-
市町村立小・中・義務教育学校安全衛生管理研修会の開催回数	回	6	6	A	市町村教委の労働安全衛生体制の整備(学校の多忙化解消を話し合う場(包括的な衛生委員会等)の設置)	市町村	33	33	A
生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	85.7	A
学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	85	85.7	A
スクールサポートスタッフの配置人数	人	7	7	A	業務支援体制を整備し負担軽減の効果があつた学校の割合	%	100	100	A
校務補助員の配置人数	人	31	40	A	障がい者の実雇用率	%	2.4	2.40	A
校務補助員の配置人数	人	7	5	C	障がい者の実雇用率	%	2.4	2.40	A
保健師等による巡回相談(沿岸南部教育事務所管内小中学校)対応校数	校	47	47	A	相談希望への対応率	%	100	100	A
事業の推進に向けた周知(HPIによる紹介)回数	回	1	1	A	幼稚園教諭免許状取得率	%	100	-	-
学校防災アドバイザー派遣校数	校	30	30	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A
防災教育研修会の開催回数	回	1	-	-	研修受講者の理解度	%	80	-	-
いわての復興教育実施校の割合	%	100	100	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A
学校防災アドバイザー派遣校数	校	30	30	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A
防災教育研修会の開催回数	回	1	-	-	研修受講者の理解度	%	80	-	-
いわての復興教育実施校の割合	%	100	100	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A
実施校数	校	1	1	A	運営指導委員会の開催回数	回	2	2	A
企業見学・学校訪問、進路講話等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
実技講習会、チャレンジショップ、郷土学習等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域伝統技術、技能を理解・伝承する取組実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域担い手育成取組校数	校	32	32	A	事業目的の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
魅力ある学校づくり実施校	校	28	28	A	事業目的の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
進学支援事業実施校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施校数	校	14	12	B	就職等支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A

【Ⅲ 教育】79事業（再掲24事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度					繰越額 (千円)	
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債		一般
③ キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成												
261	教委			総	キャリアアップサポート推進事業費補助【学校調整課】	564	522				522	
262	教委			総	いわて地域担い手育成支援事業費【学校調整課】	11,565	9,783				9,783	
(203)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育課】	(13,680)	(9,620)		(9,620)			
④ ものづくり産業人材の育成・確保・定着												
(203)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育課】	(13,680)	(9,620)		(9,620)			
(262)	教委	再		総	いわて地域担い手育成支援事業費【学校調整課】	(11,565)	(9,783)				(9,783)	
268	教委			総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育課】	214	213		159		54	
⑤ 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成												
(268)	教委	再		総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育課】	(214)	(213)		(159)		(54)	
⑨ 岩手と世界をつなぐ人材の育成												
276	教委			総	外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業費)【学校教育課】	59,455	53,943		139		53,804	
277	教委			総	外国語教育推進事業費【学校教育課】	121,388	119,394				119,394	
278	教委			総	中高連携英語力向上推進事業費【学校教育課】	311	285				285	
279	教委			総	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)【学校教育課】	0	0					
280	教委			総	雲南省教育交流推進事業費【学校教育課】	0	0					
281	教委			総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育課】	9,040	8,787				8,787	
282	教委			総	指導運営費(英語教育改善プラン推進事業費)【学校教育課】	0	0					
283	教委			復・総	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費【教育企画室】	1,035	1,035		35		1,000	

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
事業を活用して、キャリア教育を行った学校数	校	15	14	B	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A
企業見学・学校訪問、進路講話等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
実技講習会、チャレンジショップ、郷土学習等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域伝統技術、技能を理解・伝承する取組実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域担い手育成取組校数	校	32	32	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
魅力ある学校づくり実施校	校	28	28	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
進学支援事業実施校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施校数	校	14	12	B	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
進学支援事業実施校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施校数	校	14	12	B	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
企業見学・学校訪問、進路講話等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
実技講習会、チャレンジショップ、郷土学習等実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域伝統技術、技能を理解・伝承する取組実施校	校	-	-	-	-	-	-	-	-
地域担い手育成取組校数	校	32	32	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
魅力ある学校づくり実施校	校	28	28	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	-	-	参加した中学校数	校	12	-	-
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	-	-	参加した中学校数	校	12	-	-
外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	15	13	B	ALTを活用した県立学校数	校	17	15	B
外国語指導助手(NS)の派遣人数	人	25	25	A	NSを週1回以上活用した県立学校数	校	66	66	A
英語ディベート研修会開催回数	回	1	1	A	研修会を受講する高校教員数	人	30	36	A
留学支援実施回数	回	1	-	-	高校生派遣人数	人	10	-	-
派遣実施回数	回	1	-	-	中国雲南省への教員等派遣人数	人	7	-	-
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ高等学校の割合	%	100	100	A
イーハートブ・キャンプの開催回数	回	2	-	-	イーハートブ・キャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた児童生徒の割合	%	80	-	-
改善研修会の開催回数	回	4	-	-	改善研修会を受講する教員の数	人	50	-	-
英語教育推進リーダー研修会の開催回数	回	-	-	-	英語教育推進リーダー研修会を受講する教員数	人	-	-	-
-	-	-	-	-	高校生の派遣人数	人	10	2	D

【Ⅳ 居住環境・コミュニティ】再掲2事業

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります												
① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進												
(126)	教委	再	コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(331,658)	(327,787)	(1,272)	(12,377)		(314,138)	(0)
(127)	教委	再	コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(406,383)	(406,376)	(1,299)	(37,497)		(367,580)	(0)

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	46,500	22,499	D
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	25	D	美術館入館者数	人	52,000	43,271	B

【Ⅶ 歴史・文化】 8事業

番号	部局名	再掲	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
40 世界遺産の保存と活用を進めます												
③ 世界遺産の持つ新たな魅力の発信												
641	教委			総	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)【生涯学習文化財課】	3,960	3,571				3,571	0
④ 様々な文化財などを活用した交流の推進												
646	教委			復・総	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費)【生涯学習文化財課】	476,271	457,366	228,682			228,684	0
647	教委			総	文化財保護推進費(文化財保護事業費)【生涯学習文化財課】	105,047	101,520		10,843		90,677	1,195
648	教委			総	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)【生涯学習文化財課】	18,846	18,845	9,423			9,422	0
649	教委			総	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)【生涯学習文化財課】	13,071	11,228				11,228	0
650	教委			総	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】	82,236	79,572	34,971	39	8,000	36,562	0
651	教委			総	柳之御所遺跡土地公有化事業費【生涯学習文化財課】	0	0					
652	教委			総	カモシカ特別対策費【生涯学習文化財課】	14,742	14,647	2,040	9,978		2,629	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
平泉文化フォーラムの開催回数	回	-	-	-	平泉文化フォーラムの参加者数	人	-	-	-
平泉学フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉学フォーラムの参加者数	人	400	400	A
研究年報の発行回数	回	1	1	A	-	-	-	-	-
市町村への補助数	件	1	1	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	14	14	A
-	-	-	-	-	文化財修理等への補助件数	件	19	17	B
-	-	-	-	-	農家負担分経費の負担(調査)件数	件	2	3	A
-	-	-	-	-	市町村発掘調査の助成件数	件	18	18	A
-	-	-	-	-	史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	800	A
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	市町村への食害対策費補助	件	2	2	A

【IX 社会基盤】再掲3事業

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和2年度					
						最終予算額 ① (千円)	決算額 (千円)				
								国庫	その他	県債	一般
46 安全・安心を支える社会資本を整備します											
② 公共建築物等の耐震化による安全の確保											
(239)	教委	再	コ		校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】	(4,355,830)	(1,158,855)	(23,518)	(178,004)	(886,000)	(71,333)
(240)	教委	再			校舎大規模改造事業費(産業教育施設大規模改造事業費)【教育企画室】	(96,167)	(72,534)		(27,112)	(44,000)	(1,422)
(241)	教委	再			校舎建設事業費(校舎耐震改築事業費)【教育企画室】	(2,331,179)	(2,056,182)	(10,533)	(29,272)	(2,006,000)	(10,377)

繰越額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
	指標名	単位	令和2年度			指標名	単位	令和2年度		
			計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
(3,187,524)	県立学校の校舎(小規模特別教室棟等)耐震化着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数(累計)	施設	-	-	-
	県立学校の長寿命化改良・大規模改造着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	2	2	A
	県立学校のトイレ洋式化改修実施施設数	施設	-	-	-	県立学校のトイレ洋式化率(洋便器数/総便器数)	%	-	-	-
	県立学校の普通教室への冷房設備工事着手施設数	施設	27	27	A	県立学校の普通教室への冷房設備工事実施施設数	施設	27	27	A
(5,764)	県立学校の産業教育施設(小規模特別教室棟等)耐震化着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の産業教育施設(小規模特別教室棟等)耐震化完了施設数	施設	4	4	A
(218,463)	県立学校の校舎耐震改築工事着工数	施設	1	1	A	県立学校の耐震化率	%	100.0	100	A

議案第 14 号

県立高等学校の学科の廃止に関し議決を求めることについて
次のとおり県立高等学校の学科を廃止することについて、議決を求める。

1 県立高等学校の学科の廃止

学校名	区 分	課程等	学科名	位 置
岩手県立一関工業高等学校		全日制	電気科	一関市
		全日制	電子科	
岩手県立宮古商工高等学校		全日制	機械科	宮古市
		全日制	電気電子科	
		全日制	建築設備科	
		全日制	商業科	
		全日制	流通経済科	
		全日制	会計科	
		全日制	情報科	

2 廃止の時期

令和 4 年 4 月 1 日

令和 3 年 8 月 23 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

県立高等学校の学科を廃止しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和4年度

県立学校の編制について

岩手県教育委員会

I 令和4年度 県立高等学校の編制について

1 課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和4年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区 分			募 集 学 級 数			募 集 定 員			
			3年度	4年度	差	3年度	4年度	差	
県立高等学校	全 日 制	普通科・理数科・体育科	129	129	0	5,160	5,160	0	
		職業に関する学科	69	69	0	2,760	2,760	0	
		総合学科	26	25	▲1	1,040	1,000	▲40	
		小 計	224	223	▲1	8,960	8,920	▲40	
	定 時 制	普通科	13	13	0	520	520	0	
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0	
		小 計	14	14	0	560	560	0	
	合 計			238	237	▲1	9,520	9,480	▲40

2 ブロック別募集学級数増減

令和4年度のブロック別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

ブロック	募集学級数 (全日制、定時制)	学 校 名	令和3年度設置学科 及び募集学級数	令和4年度設置学科 及び募集学級数	令和4年度学級数増減		
					学 科	増	減
盛岡	77→77 (全72、定5)	(該当なし)					
岩手 中部	37→37 (全37、定0)	(該当なし)					
胆江	25→24 (全22、定2)	岩谷堂高校	総合 4	総合 3	総合		▲1
両磐	23→23 (全22、定1)	(該当なし)					
気仙	14→14 (全13、定1)	(該当なし)					
釜石・ 遠野	16→16 (全15、定1)	(該当なし)					
宮古	17→17 (全16、定1)	(該当なし)					
久慈	16→16 (全14、定2)	(該当なし)					
二戸	13→13 (全12、定1)	(該当なし)					
合計	238 → 237 (全223、定14)				普通 普通・理数 体育 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制		▲1
					計	0	▲1

3 学科改編

令和4年度における学科改編はない。

4 学校再編

令和4年度の再編を計画した高等学校はない。

5 年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止 (岩手県立学校設置条例該当事項)

令和2年度から募集を停止しており、令和3年度をもって令和元年度入学生が卒業する学科について、令和4年度に廃止するものである。

ブロック (位置)	学校名 (課程)	設置学科 (学級数)		
		R1	R2～R3	R4
両 磐 (一関市)	一関工業高校 (全日制)	電 気 科 (1) 電 子 科 (1) 電子機械科 (1) 土 木 科 (1)	電 気 科 (1) 電気電子科 (1) 電 子 科 (1) 電子機械科 (1) 土 木 科 (1)	電気電子科 (1) 電子機械科 (1) 土 木 科 (1)
宮 古 (宮古市)	宮古商工高校 (全日制)	[旧・宮古工業高校] 機 械 科 (1) 電 気 電 子 科 (1) 建 築 設 備 科 (1) [旧・宮古商業高校] 商 業 科 (1) 流 通 経 済 科 (1) 会 計 科 (1) 情 報 科 (1)	機 械 科 (1) 機械システム科 (1) 電 気 電 子 科 (1) 電気システム科 (1) 建 築 設 備 科 (1) 商 業 科 (1) 総合ビジネス科 (1) 流 通 経 済 科 (1) 流通ビジネス科 (1) 会 計 科 (1) 情 報 科 (1) 情報ビジネス科 (1)	機械システム科 (1) 電気システム科 (1) 総合ビジネス科 (1) 流通ビジネス科 (1) 情報ビジネス科 (1)

II 令和4年度 県立特別支援学校の編制について

令和4年度に、県立特別支援学校の課程及び学科の廃止はない。